

**YASHICA**



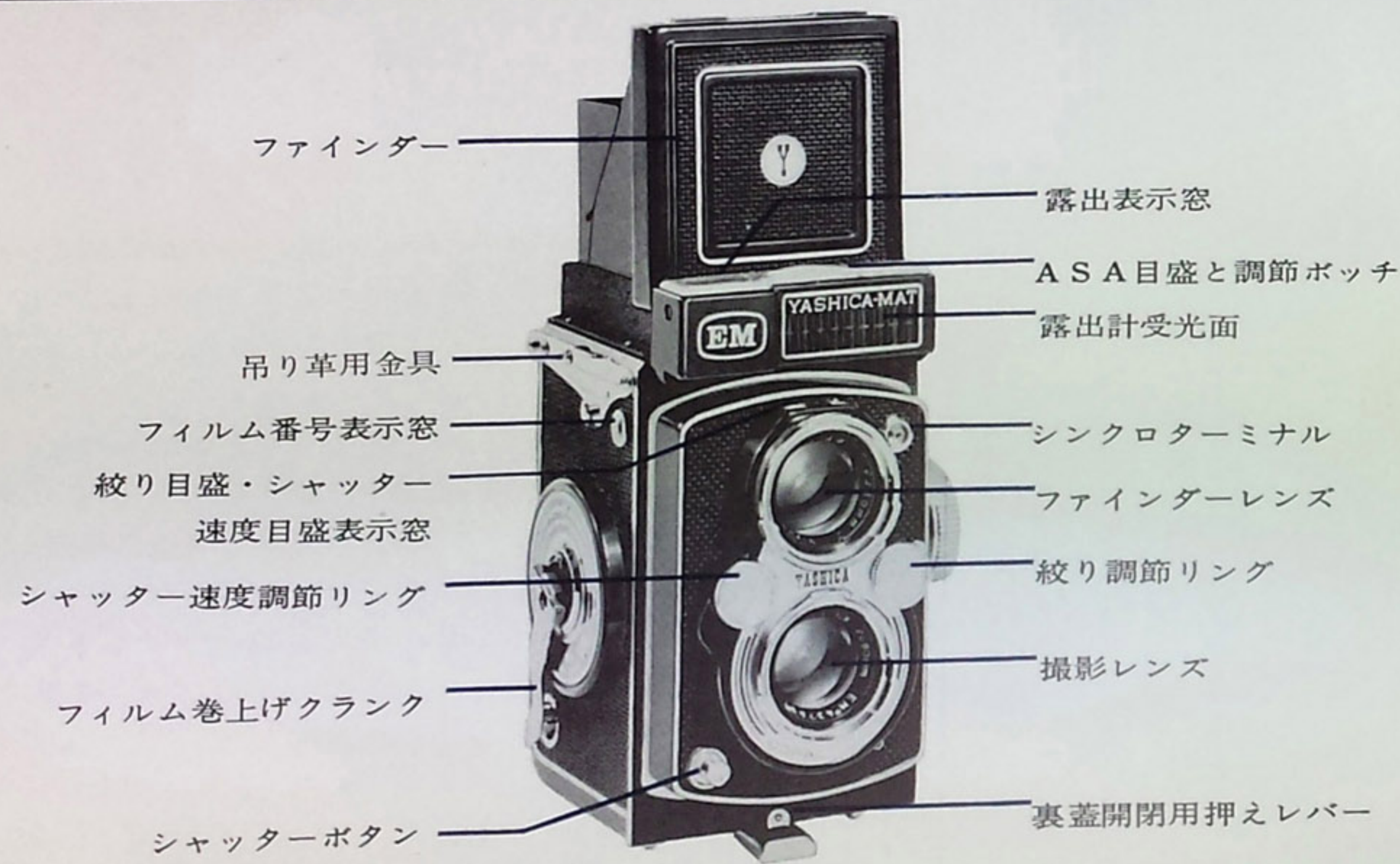
☼ ヤシカニ眼レフ MAT EM の使い方

世界のプロカメラマンに愛用されている  
高性能の二眼レフカメラ

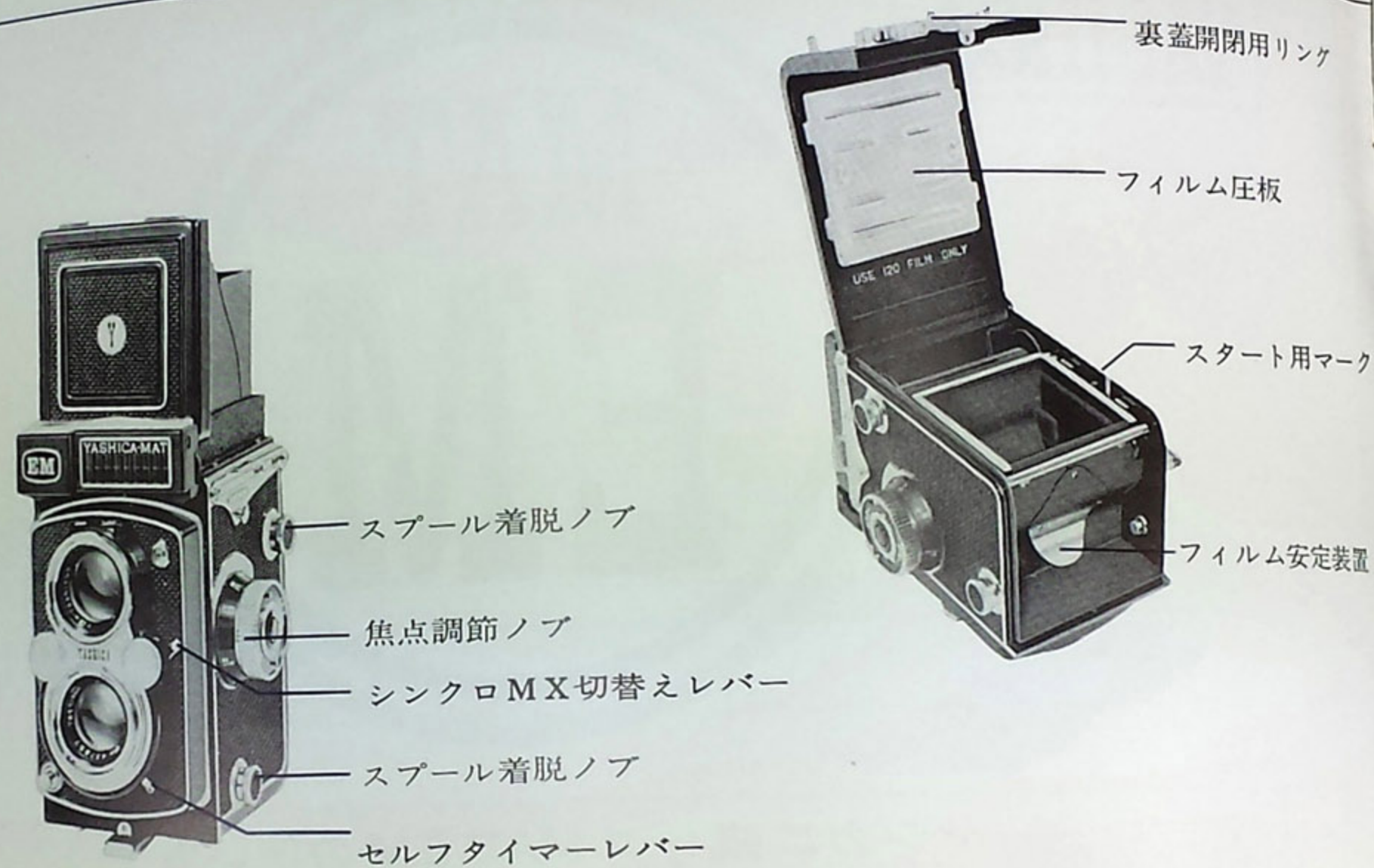
DeLuxe

- ◎レンズは、シャープさと解像力のよさで定評ある  
カラー時代の最高級ヤシノンレンズ
- ◎ファインダーは、見ているだけで楽しく、ピントも合  
わせやすいスーパーライトスクリーン
- ◎露出は、高性能の内蔵露出計でOK！好きなシャッタ  
ー速度と絞りの組合わせがひと目でわかる
- ◎速写性は、二眼レフ最高の巻上げとシャッターセット  
が同時にできるクランクオートマツ式
- ◎使いよさは、構えたまま露出計もシャッターと絞り  
も操作できる独自の機構がすべてを代表し  
てます

☆伝統のあるヤシカの技術が生んだ二眼レフの最高級機



☆各部の名前をおぼえましょう



★ 世界二眼レフの王座を獲得した  
最高級のカメラ

**MAT EM**

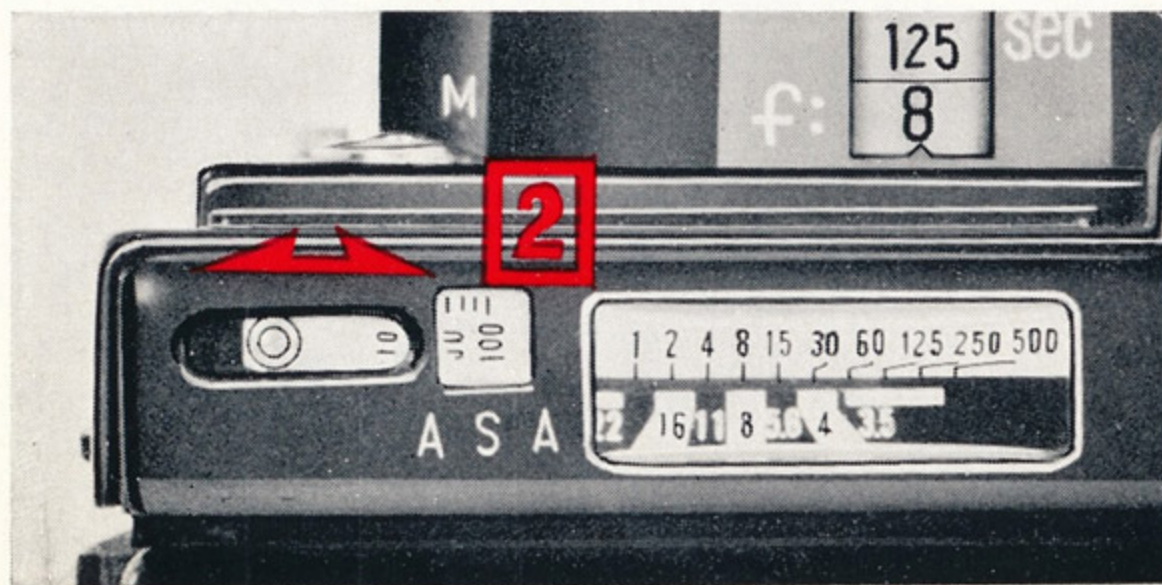


☆これだけの操作で簡単に撮影ができます



## 1 フィルムを入れます

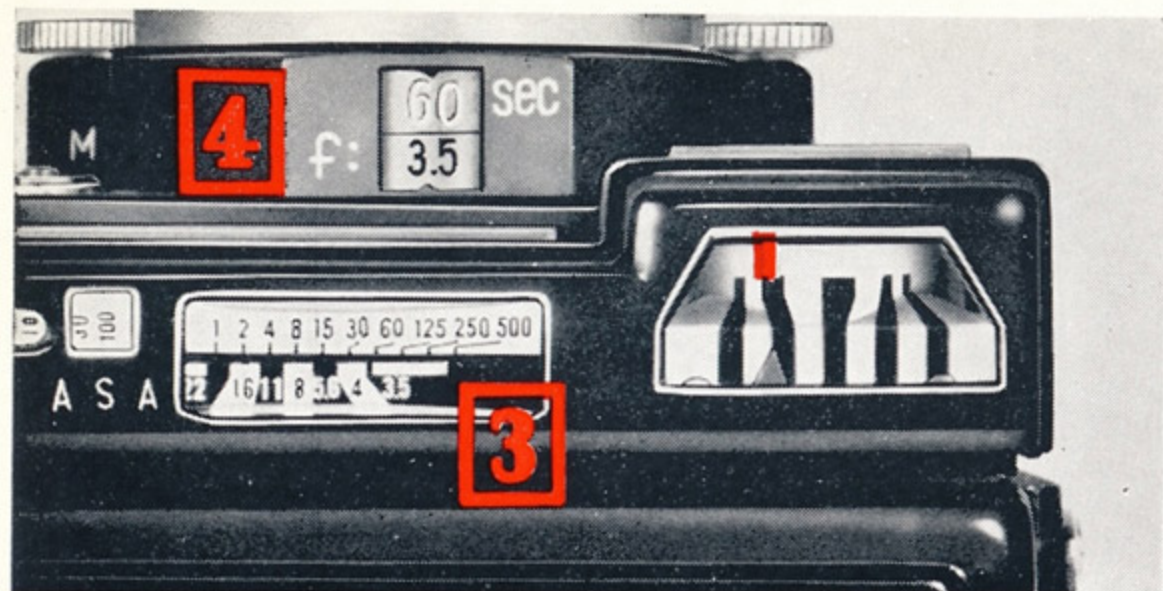
フィルムが入れ方が悪いと、せっかくの写真が無駄になりますから、正しく入れてください。入ったらクラックを巻きシャッターセットしてください。



## 2 ASA感度を合せます

ASA表示窓にフィルムのASA感度を合合わせます。これを忘れると適正露出が得られません。

(くわしくは各項目の説明をご覧ください。)



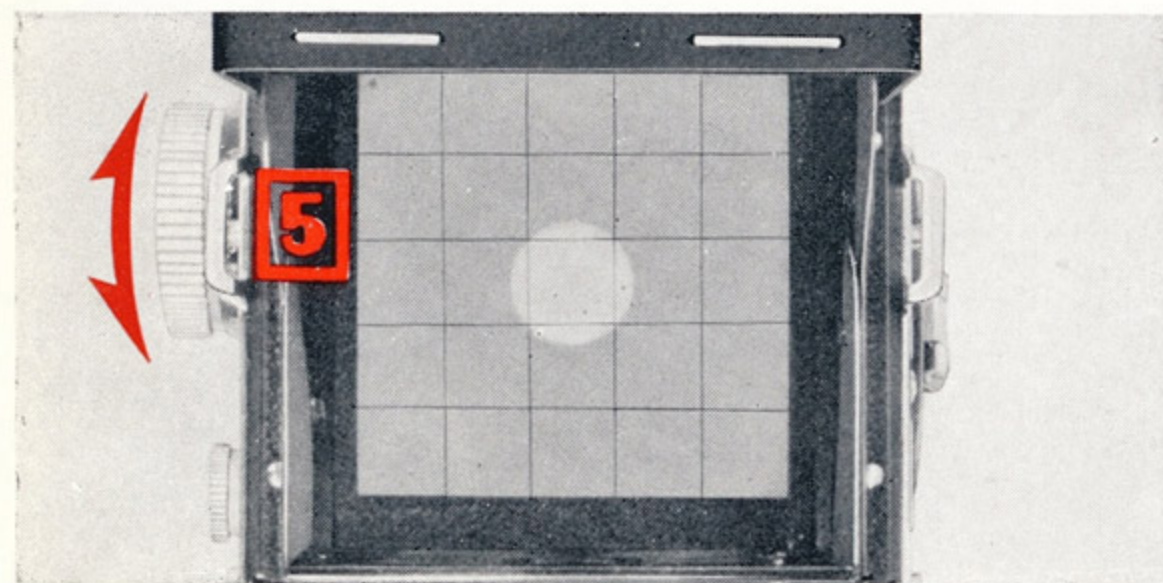
### 3 露出表示窓を見ます

露出調節ノブを動かし、グリーン針を赤針に合わせてください。

### 4 絞り目盛・シャッター速度目盛

表示窓に合わせます

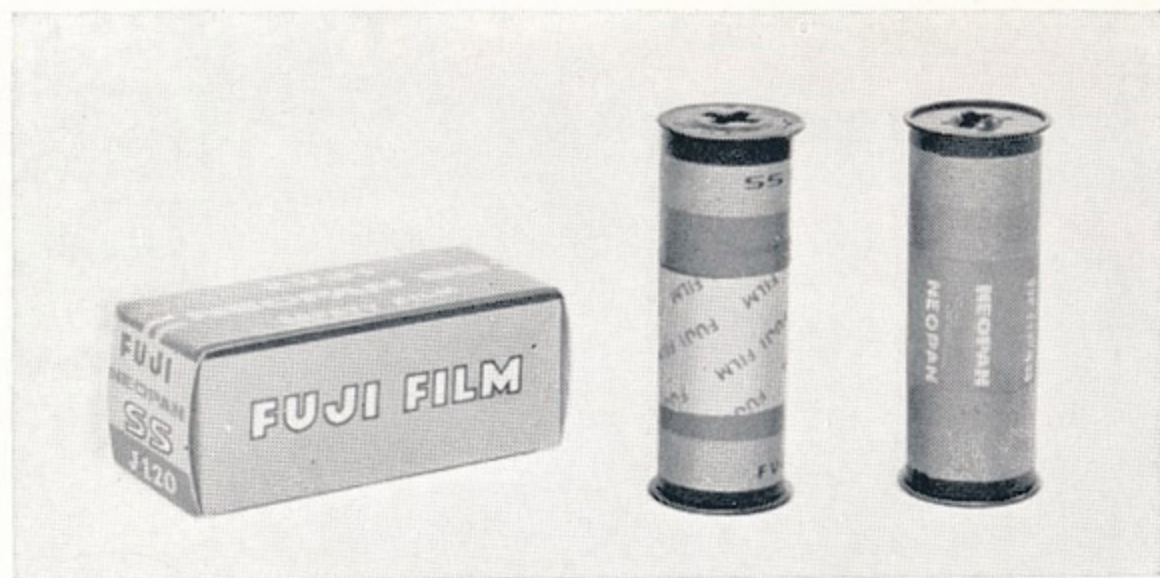
露出表示窓に出た数を、絞り調節リング  
シャッター速度調節リングを回して合わせ  
てください。



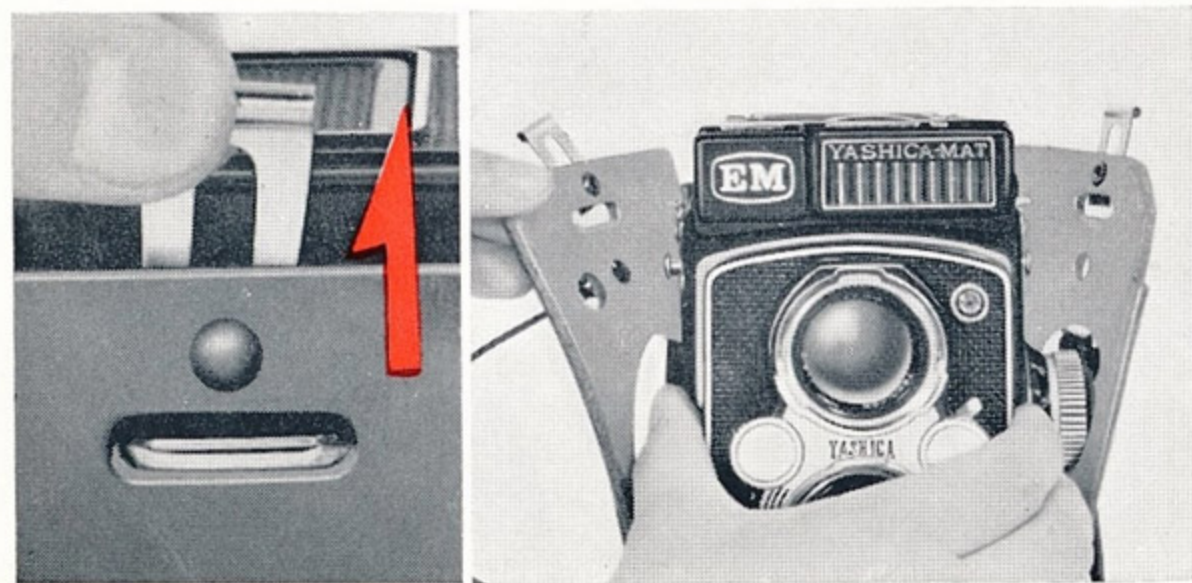
### 5 ファインダーを覗き、ピントを合わせ てシャッターボタンを押します

以上の操作で美しい写真がとれます。

☆フィルムを入れるときは、直射日光下をさけ木陰など

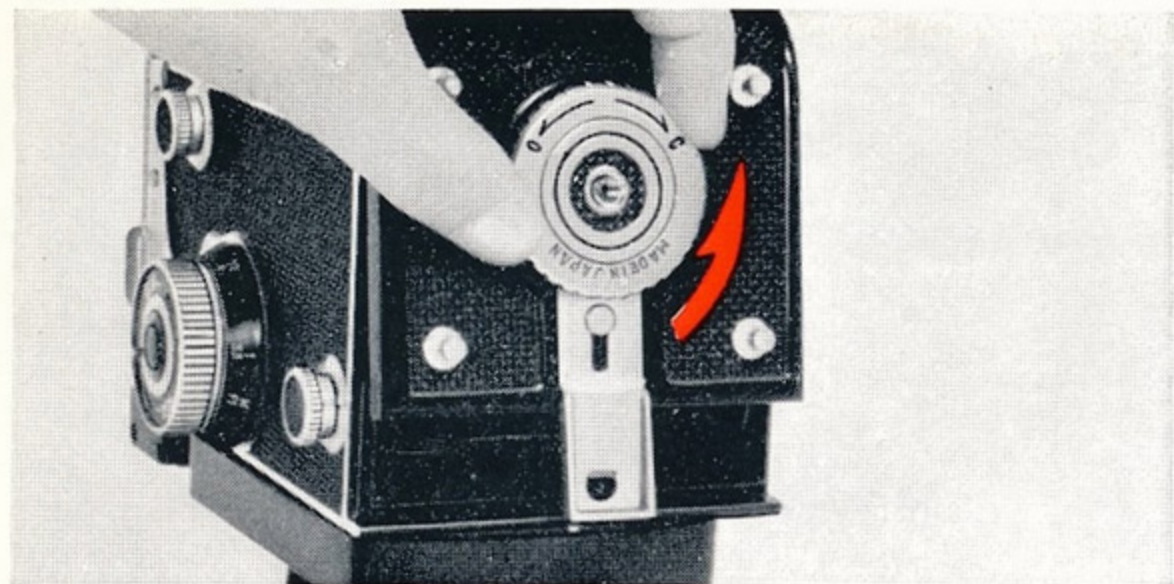


EMに使用するフィルムは、市販されている6×6用のフィルムをお使いください。1本のフィルムで12枚の写真がとれます。

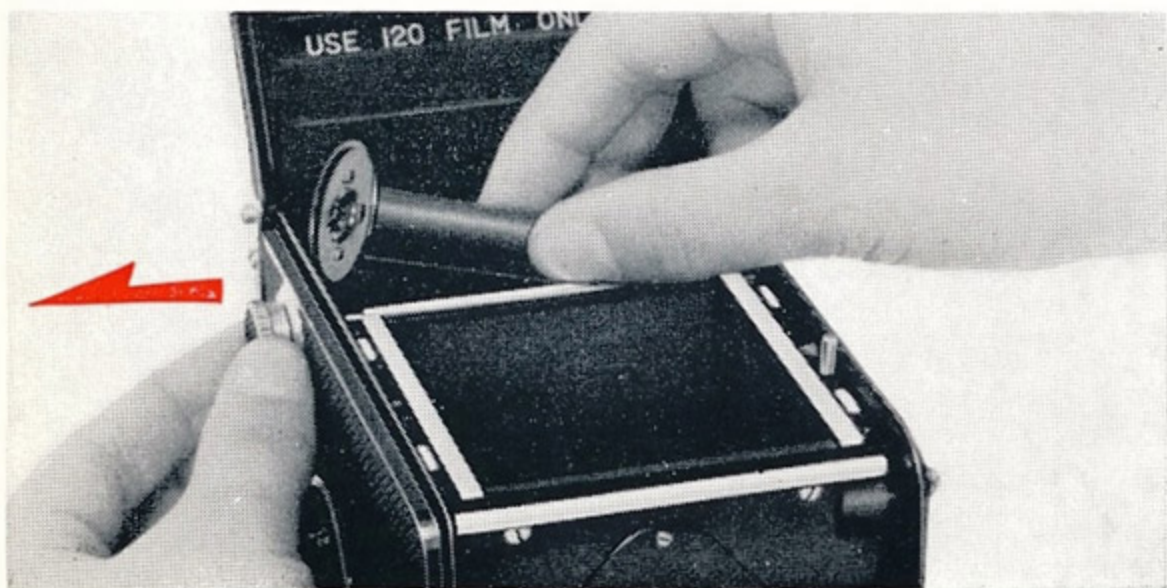


革ケースの左右上部の差し込み金具を上  
に引きあげます。  
指を写真のように差し込み、革ケースを  
左右に開きカメラをとりだしてください。

の暗いところに入れてください。



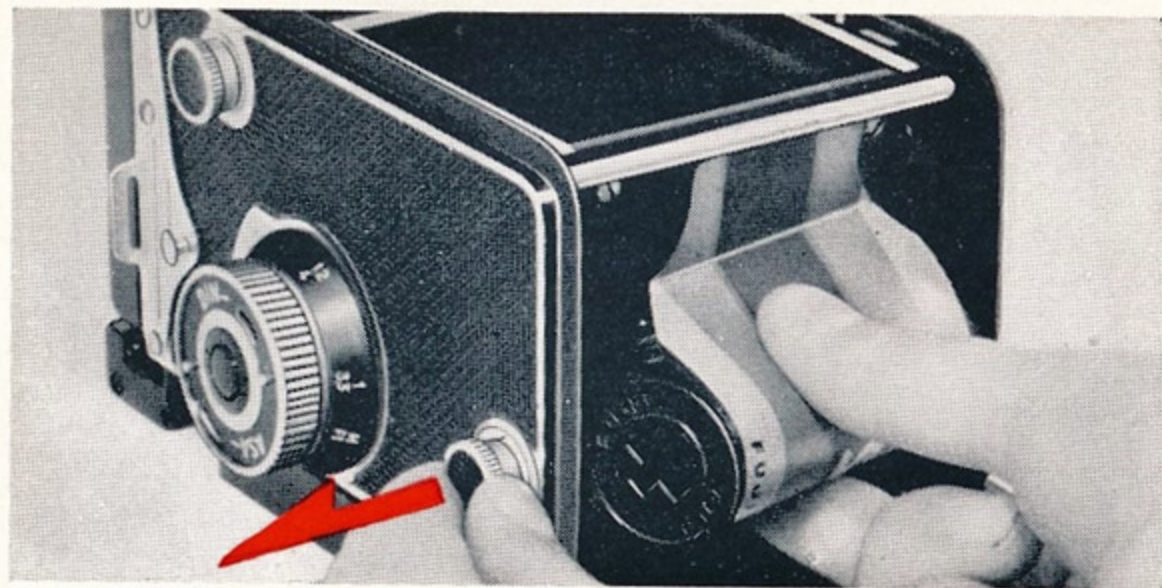
底部の裏蓋開閉リングを、0の矢印方向に回しますと裏蓋が開きます。



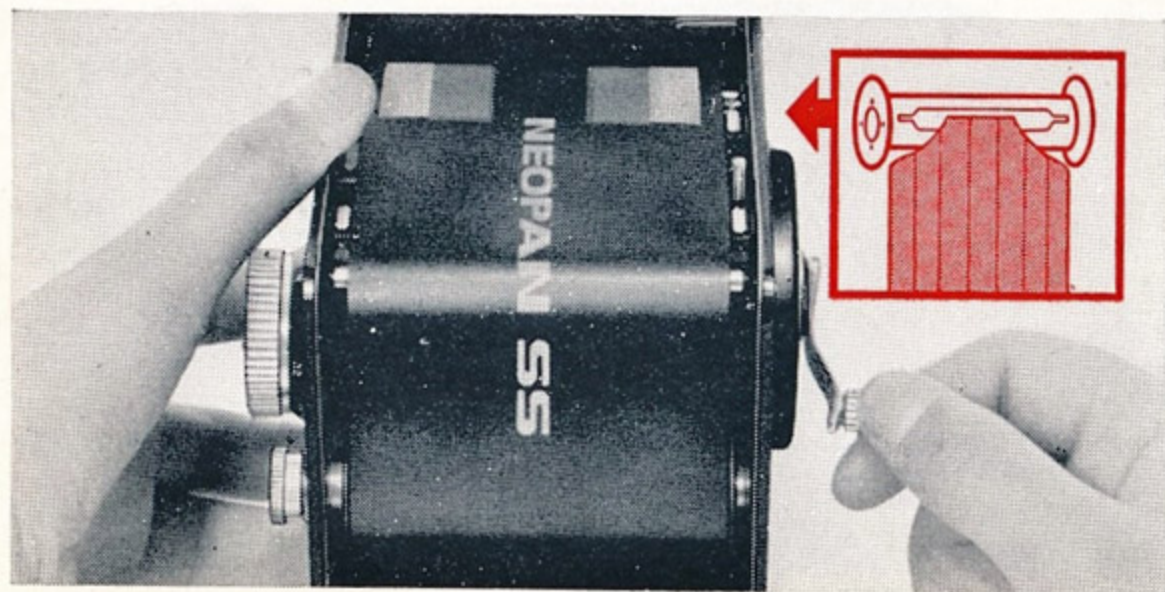
上部のフィルム着脱用ノブを引いて、空のスプールを入れます。



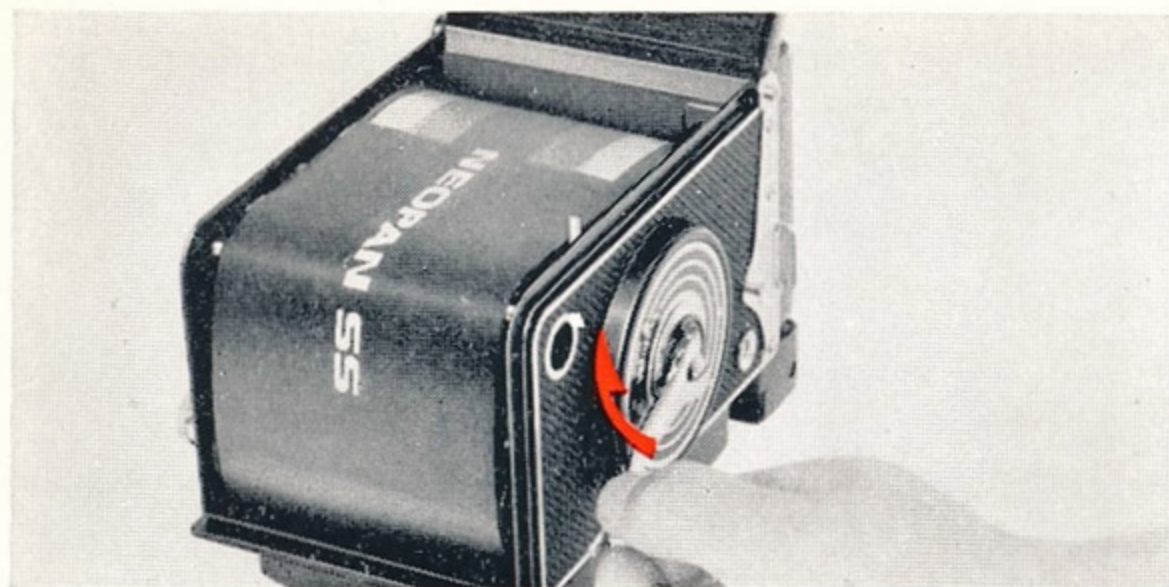
## ☆ 速写性にとんだクランク式フィルム巻上げ



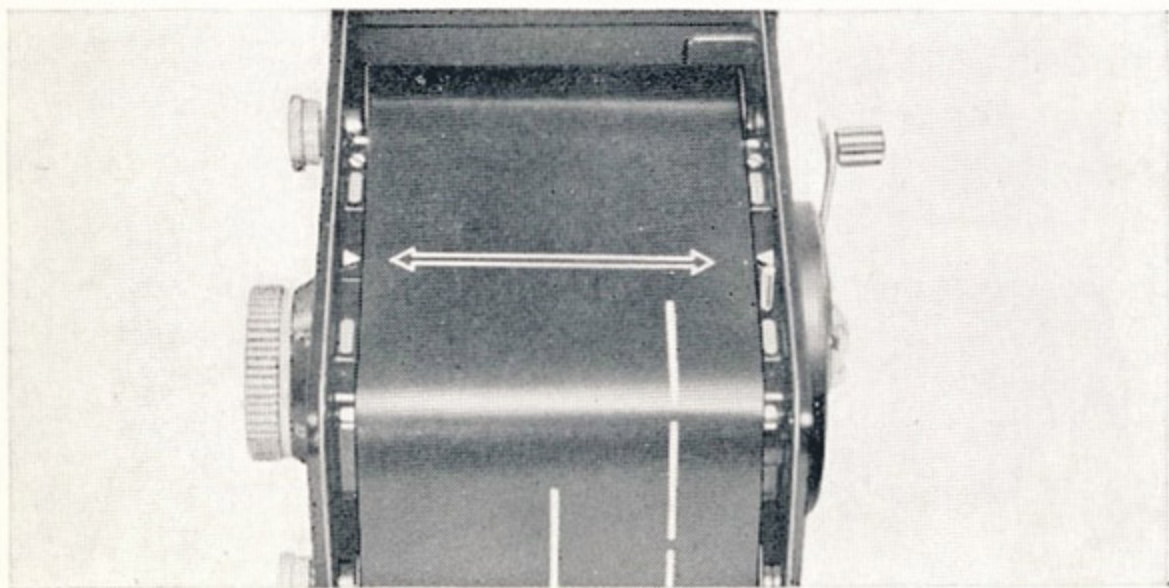
フィルムのシールを切り、下部のフィルム着脱ノブを引いて入れます。



リーダーペーパーを引き出し、先端を上部の空スプールの溝に差し込みます。

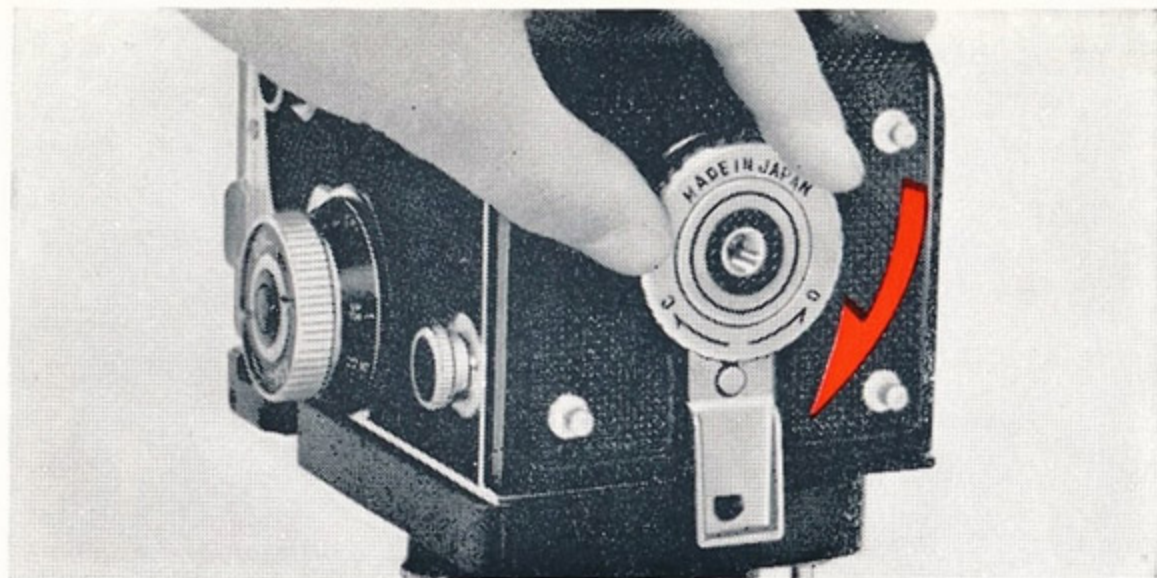


左右を均等に差しこんだら、クランクを矢印方向に回していきます。

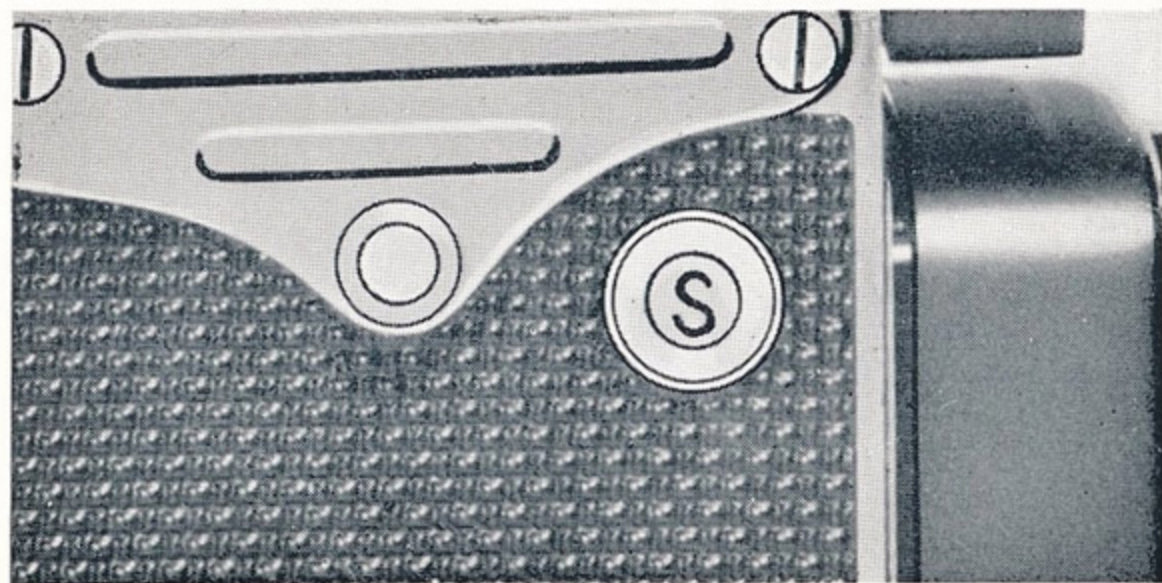


そうすると、フィルムのスタートマークが出てきますから、これをカメラのスタートマーク(赤い三角印)に合せます。

☆便利な自動復元式フィルム枚数計がついています

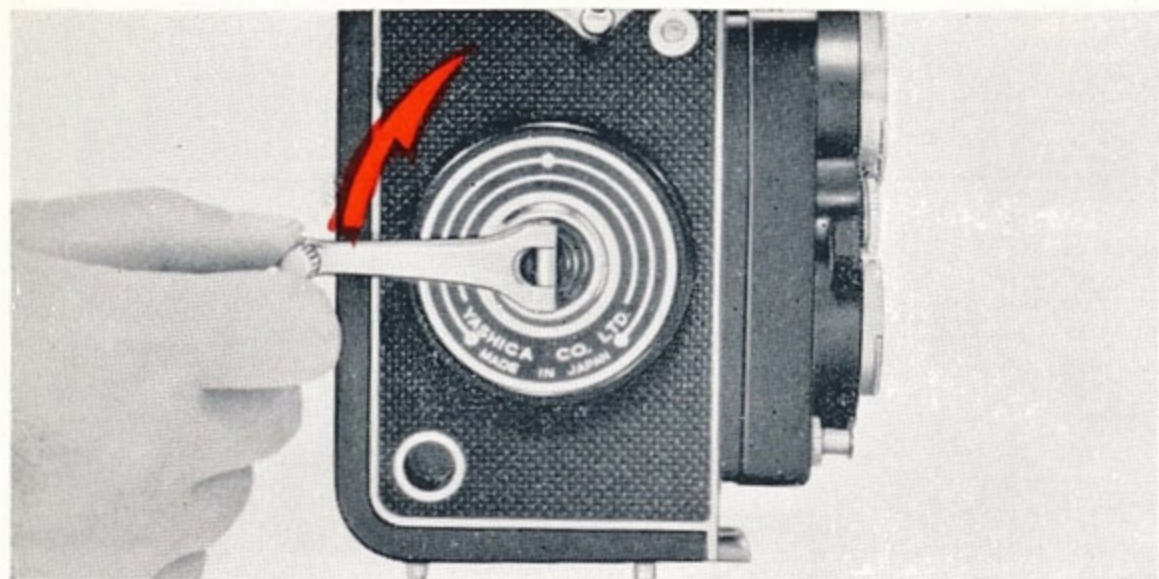


裏蓋を閉め、手で押しながら裏蓋開閉リングをCの矢印方向に回せば完全にしまります。



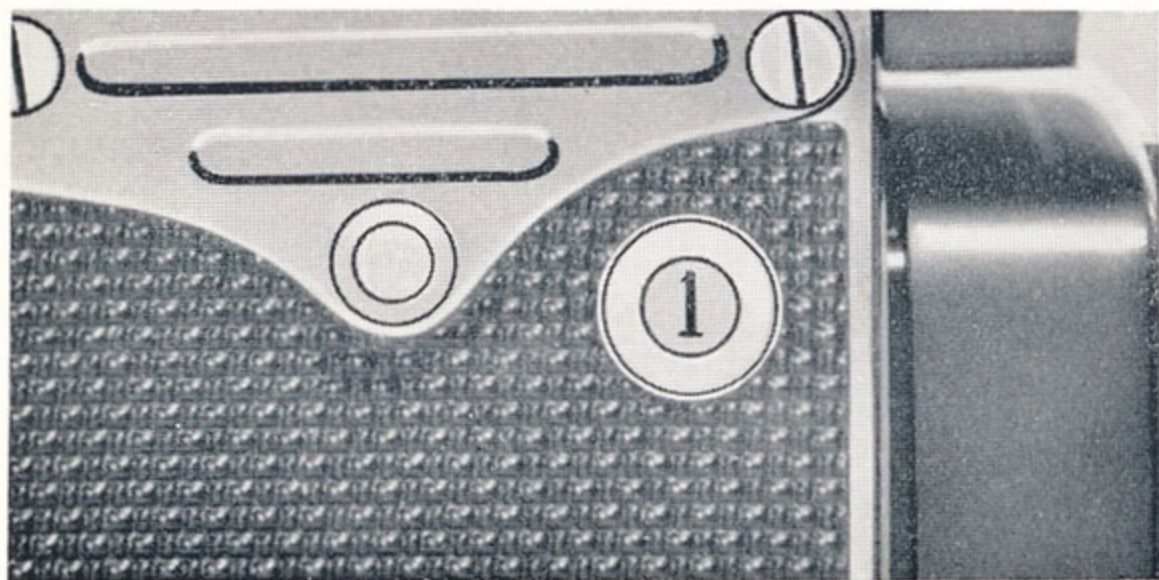
フィルム番号表示窓にS（スタート）がでています。

（フィルム枚数計は自動復元式ですから、裏蓋を開くとSにもどります。）



クラックを矢印方向に回すと、フィルム番号表示窓に①がでてきます。

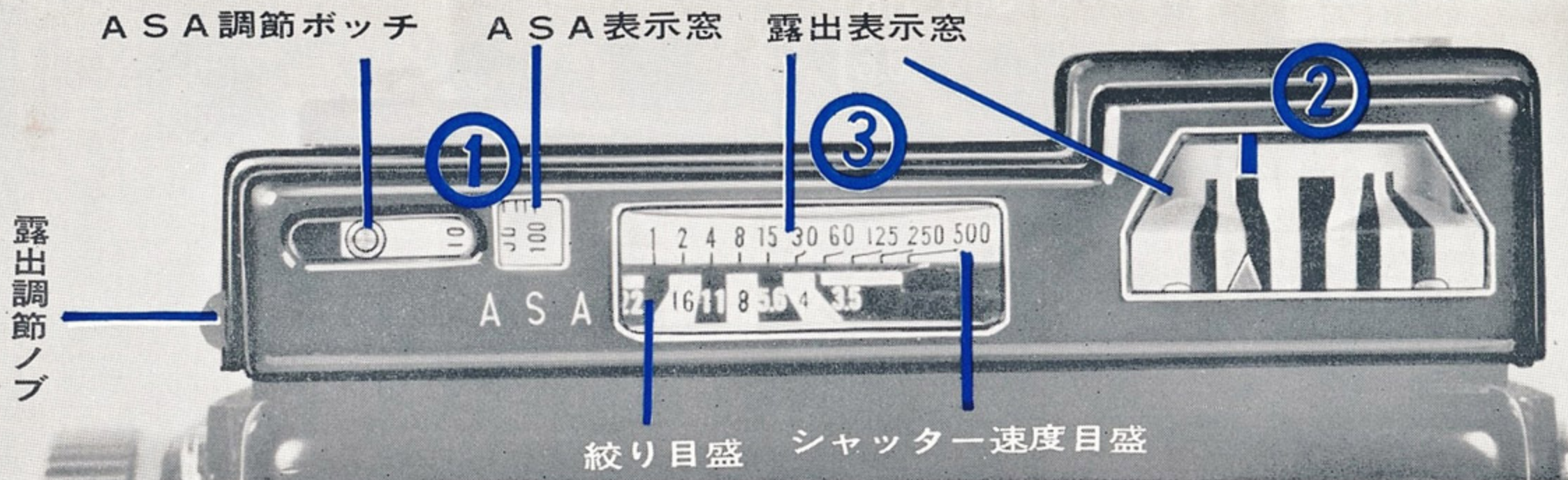
クラックが止ったら、逆の方へ止るまで戻さないとシャッターは切れません。



①がでたら撮影をはじめてください。

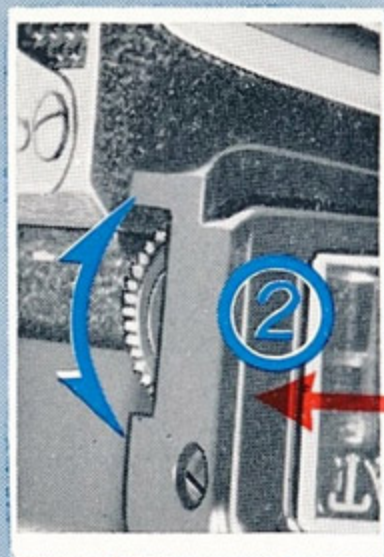
あとは同じ方法で、フィルム巻上げとシャッターセットをしてください。

☆針と針を合わせれば正しい露出はOK!



**1** ASA調節ボッチを動かし、使用フィルムのASA感度数をASA表示窓に合わせてください。これを忘れると正しい露出が得られません。

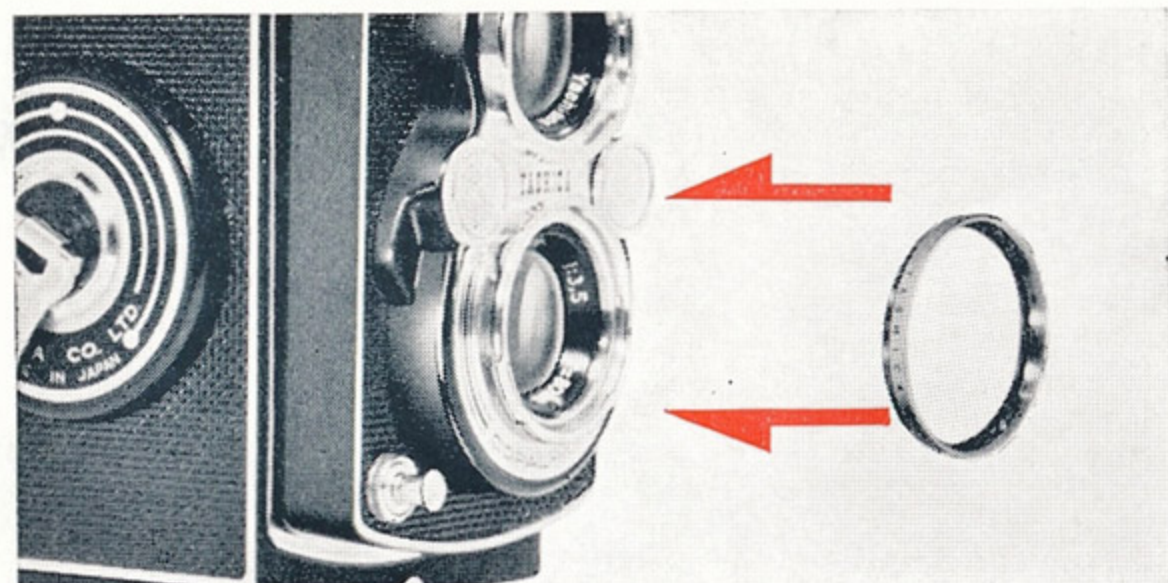
**2** カメラを被写体に向けると露出表示窓の赤い針が動きます。そしたら露出調節ノブを動かして、グリーン針を赤い針に合わせてください。



**3** 露出表示窓に表われたシャッター速度と絞りの組合わせがそのときの正しい露出の絞りとシャッター速度です。

**4** 露出表示窓に表われたシャッター速度をシャッター速度調節リングを回して、Secの窓に合わし、また絞りは絞り調節リングを回してf:の窓に合わせば正しい露出がセットされます。

☆フィルターは専用フィルターをお使いください



### 《フィルターを使うときは》

- 光線の強いとき、雪景色、真夏の海岸などでは、フィルターを使用した方が調子のよい写真がとれます。
- フィルターを使用したときは、フィルターに表示されている露出倍数だけ露出を変えなければなりません。



〔例〕 いま、露出が  $F22 \cdot \frac{1}{250}$  秒とします。露出倍数2倍のフィルターを使用したら、絞り調節リングを回して絞りを1目盛ずらせ、絞りをF16に合わせてから撮影してください。

## ☆ 逆光線撮影もワンタッチで露出調節ができます



## 《逆光線撮影等の露出について》

逆光線撮影、窓際の人物、雪景色の人物などのようにバックが明るすぎるとき、普通に計った露出で撮影したのでは、人物等の主被写体が暗く（露出不足）なりがちです。

逆光線撮影での露出は、普通の順光線撮影のときの約2倍とされていますから、絞りを1目盛か2目盛調節してから撮影すればよいのです。

〔例〕 いま、普通に計った適正露出が絞りF16・ $\frac{1}{125}$ 秒としたら……………絞り調節リングを回して、絞りF11か絞りF8に調節してから撮影すればよいのです。



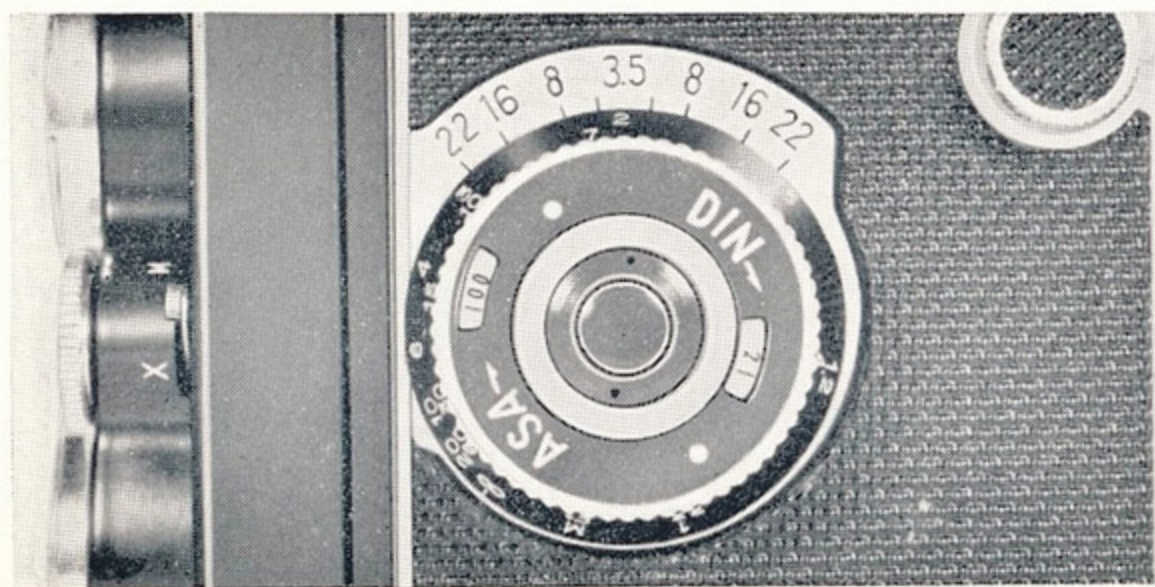


## ASA目盛について

A	10		25			50			100		200	400
S	⋮		⋮		⋮		⋮		⋮		⋮	
A	16		32	40		64	80		160	に相当する		

## <ASA感度とは>

★ASA感度とはフィルム感光度のことで、フィルムの外箱にASAいくつと印刷されていたり、説明書の露光指数の項に必ず書いてあります。



## <ASAとDINの換算について>

フィルムのASA感度を、焦点調節ノブの上にあるASA目盛にあわせると自動的にDIN目盛がきまります。

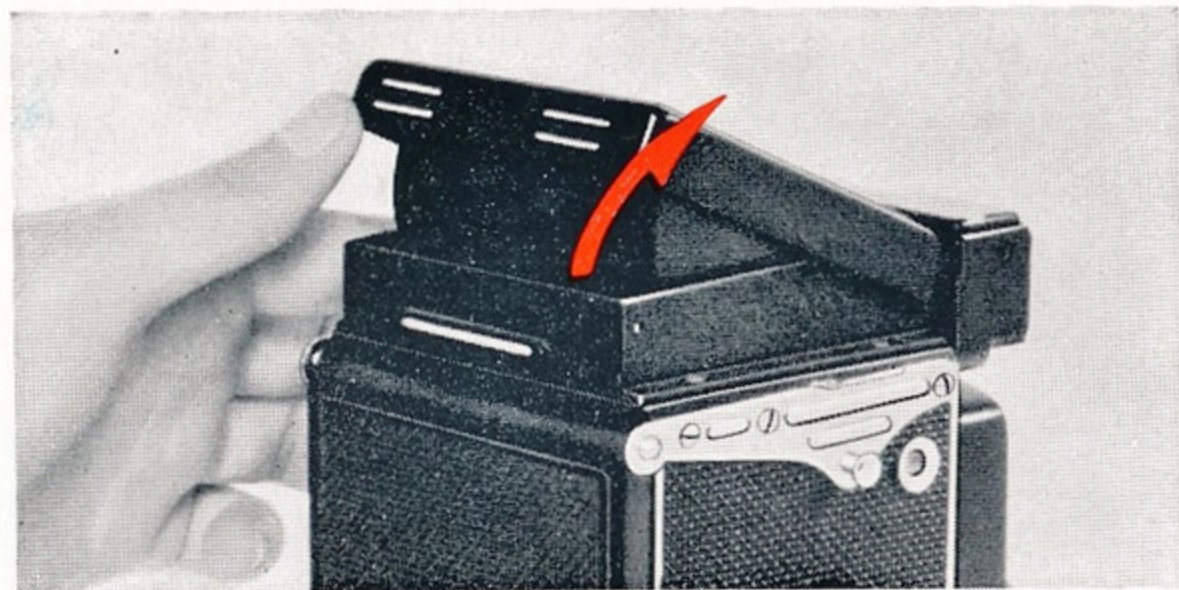
6 × 6 判の原寸の大きさ

カラー写真用に設計された  
ヤシノンレンズで、美しい  
カラー写真やスライドを楽  
しみましょう。



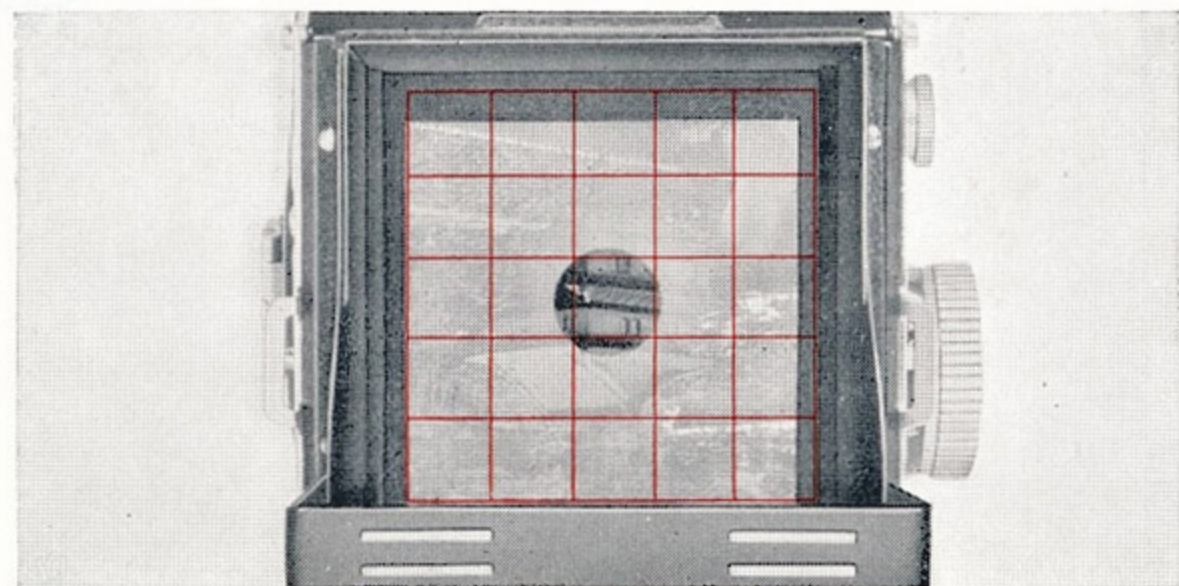
● ASA感度とASA目盛について

## ☆明るく見やすいファインダー



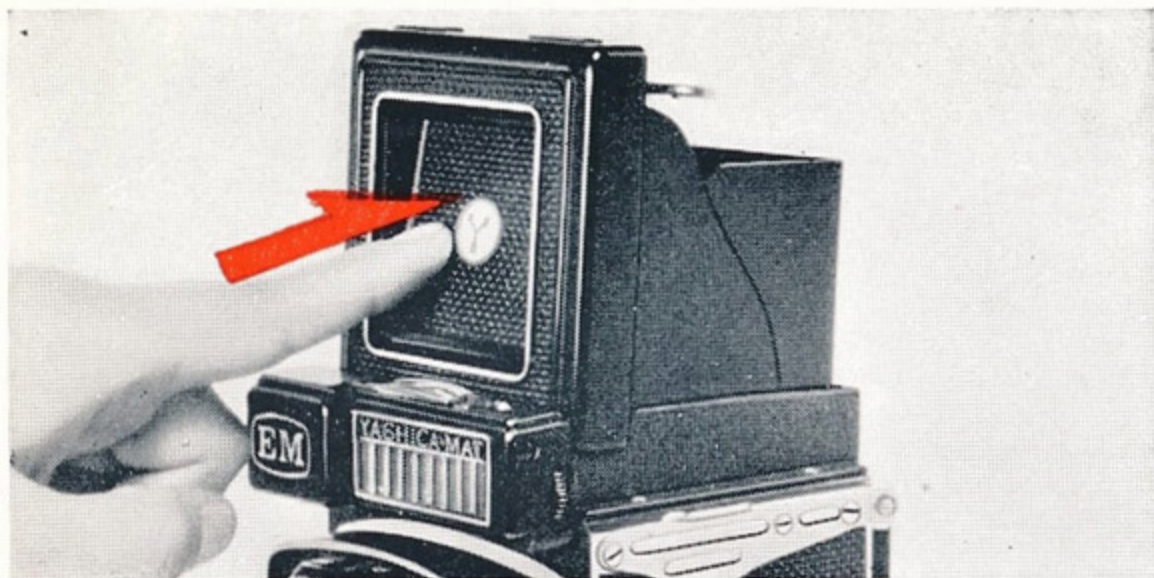
ファインダーフードは、指先で軽く起せば開きます。

閉じるときは、フードを軽く手前に倒せば自然に閉じます。



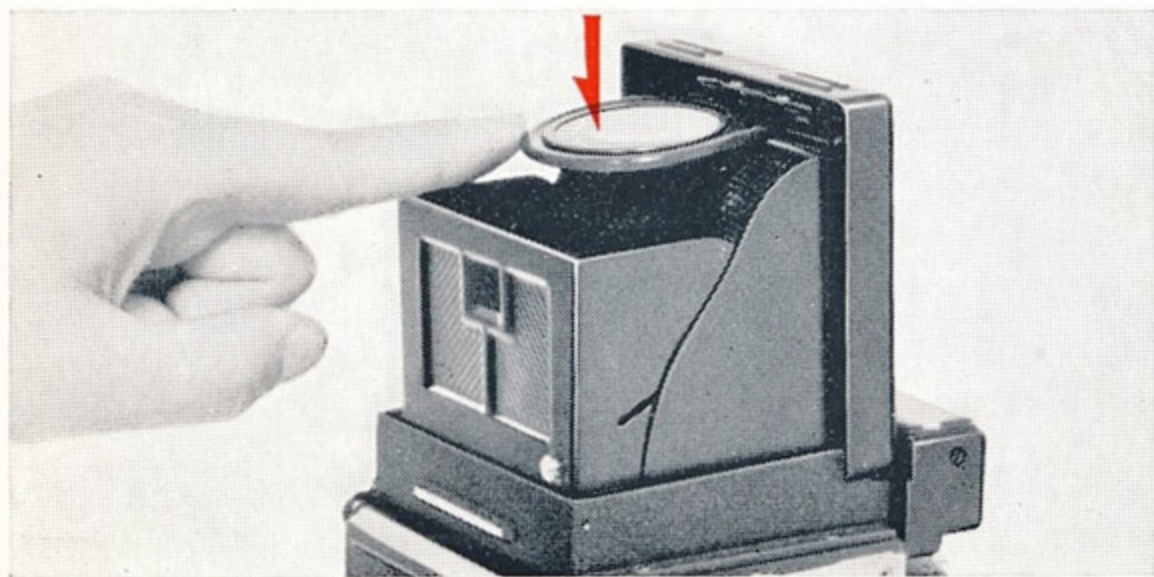
ピントガラスに8本の赤線が引いてあります。これは、撮影のとき構図を決めるのに利用してください。

☆ピントを正確に見るためにルーペをお使いください



ルーペは、ピントを正確に合わせるために必要なものです。

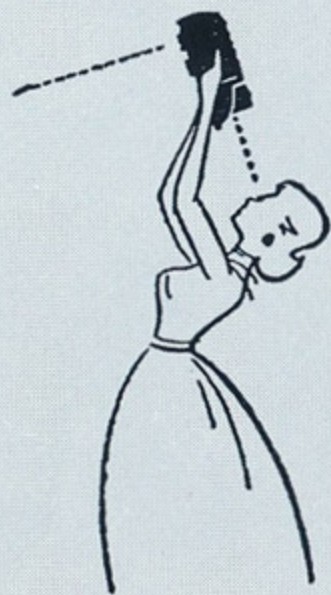
ファインダー透視蓋の上を軽く押せば、ルーペがでてきます。



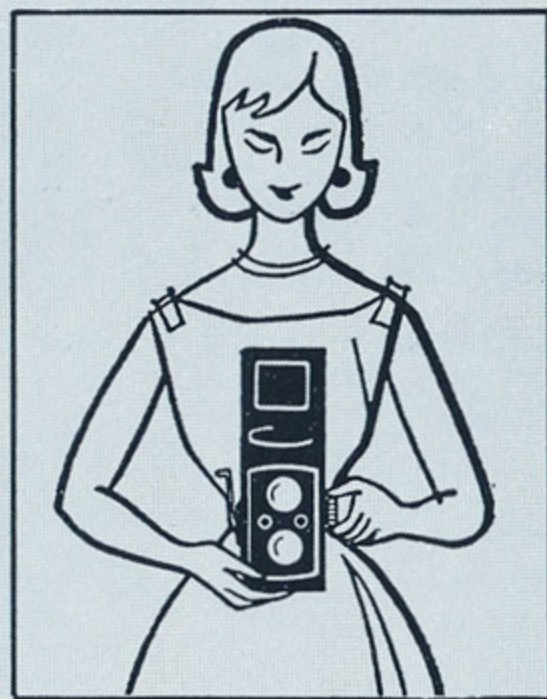
ルーペを元に戻すときは、レンズに指をふれないように注意し、軽く下方へ押せばよいのです。

☆正しく構えて、美しい写真をとりましょう

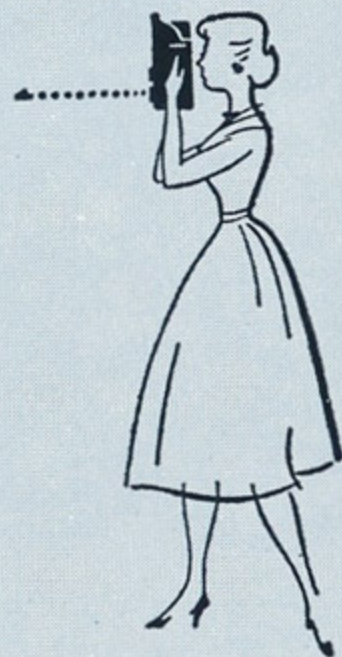
眼の高さから



基本となる胸の高さ



高い位置から



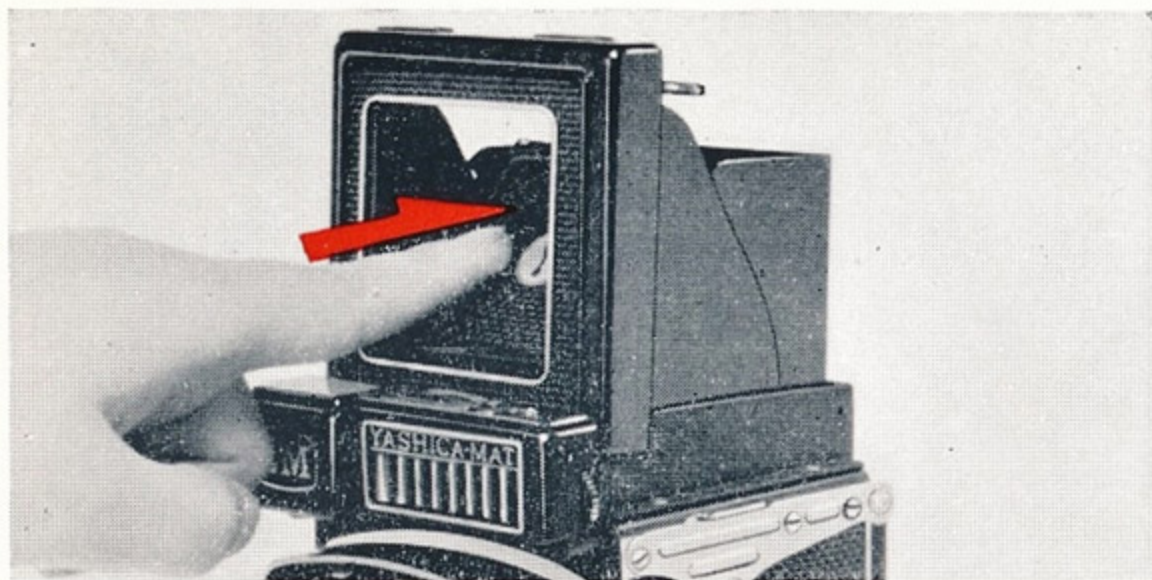
ひざを利用して



低い位置から

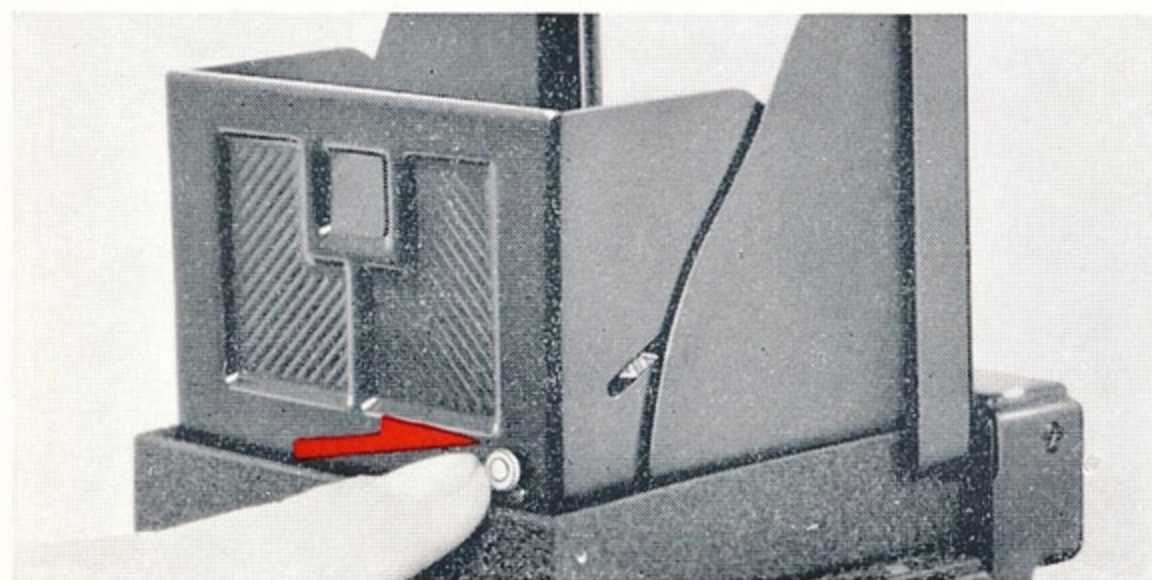


☆スナップやスポーツ等の動きの早いものにスポーツファインダーを



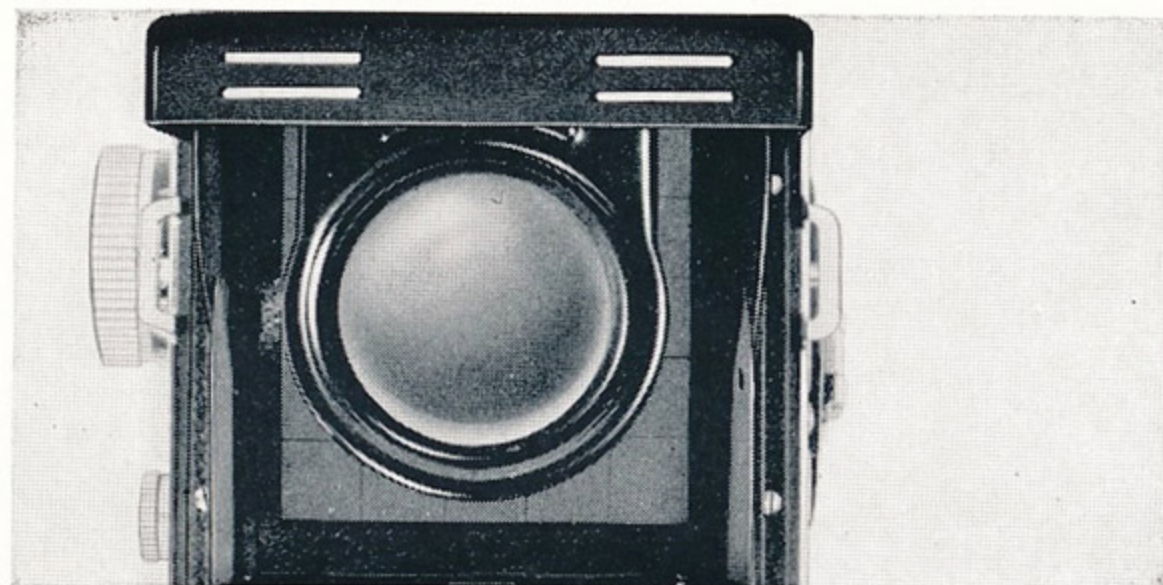
スナップやスポーツ等動きの早いものや眼の高さから写したいときには、スポーツファインダーを利用すると便利です。

透視蓋を矢印のように倒していくと、止め金にひっかかります。

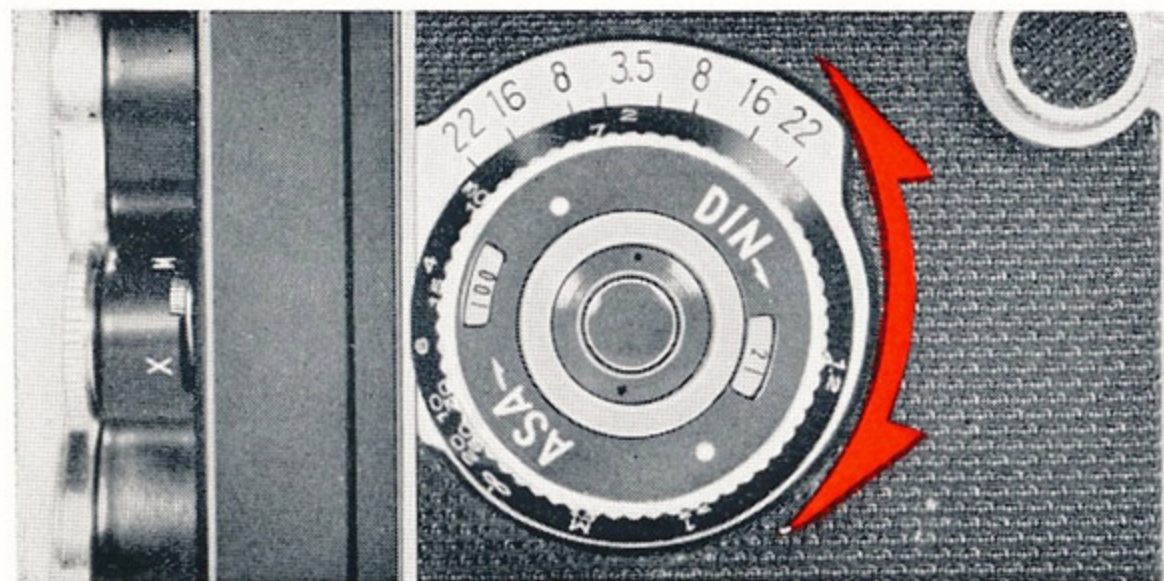


透視蓋を戻すときは、透視ファインダー用押しボタンを押せば止め金からはずれてもどります。

## ☆ピントが迅速に合わせられる見やすいファインダー



正確なピント調節のときは、ルーペを使用してください。ピントが合ったらピントガラスで構図をきめてからシャッターを切ります。



ピント合わせは、ピントガラスを見ながら、焦点調節ノブを指先で回しながら合わせます。



▶ ピントの合ったとき

ピントグラスで写すものの像がはっきり見えればピントが合っています。

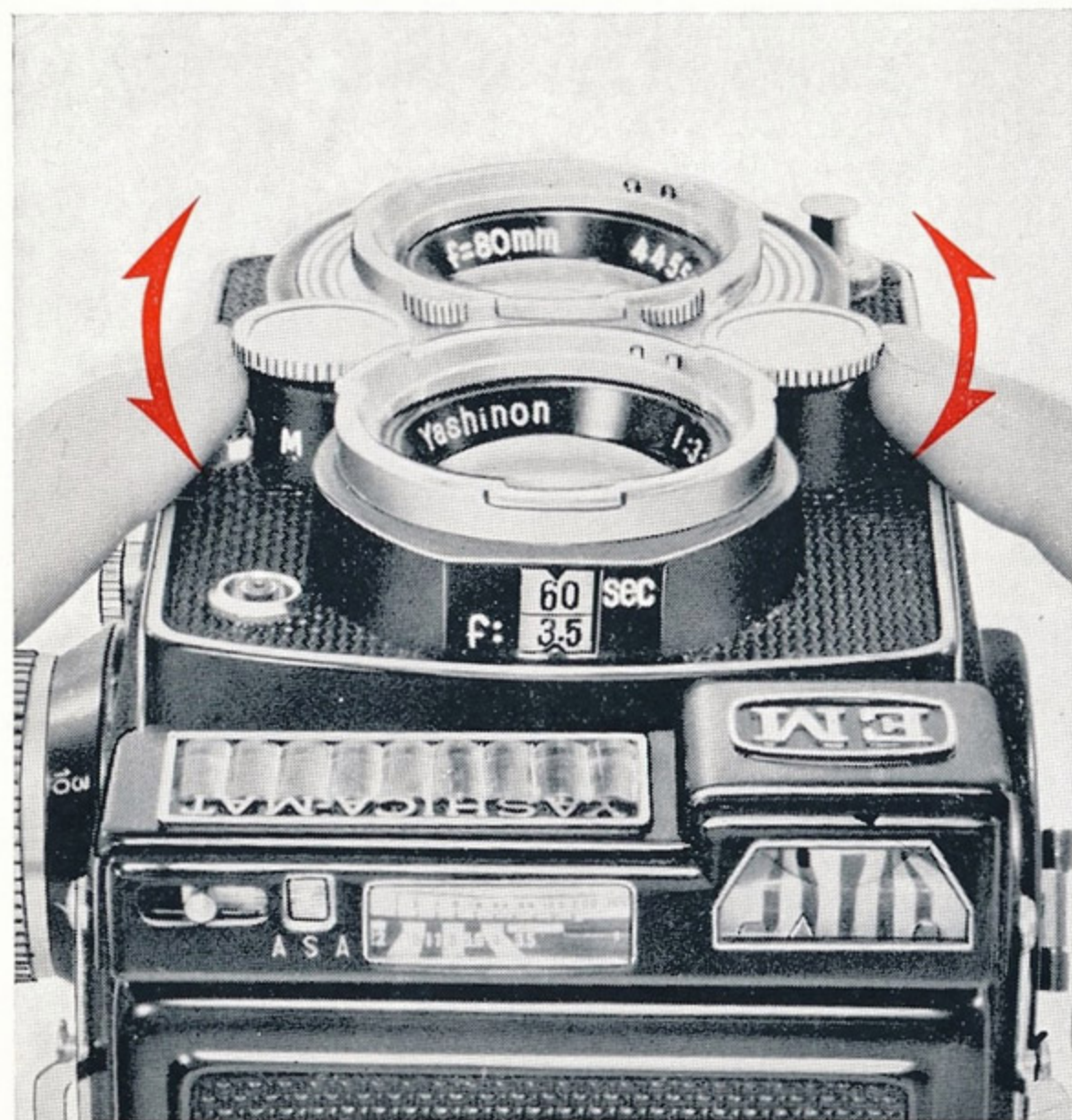


▶ ピントの合わないとき

ピントが合っていないときは、ピントグラスの像がボケて見えます。



## ☆撮影の状態で一目でわかる絞りとシャッター速度



シャッター速度と絞りが上部からひとめで見えるので非常に便利です。

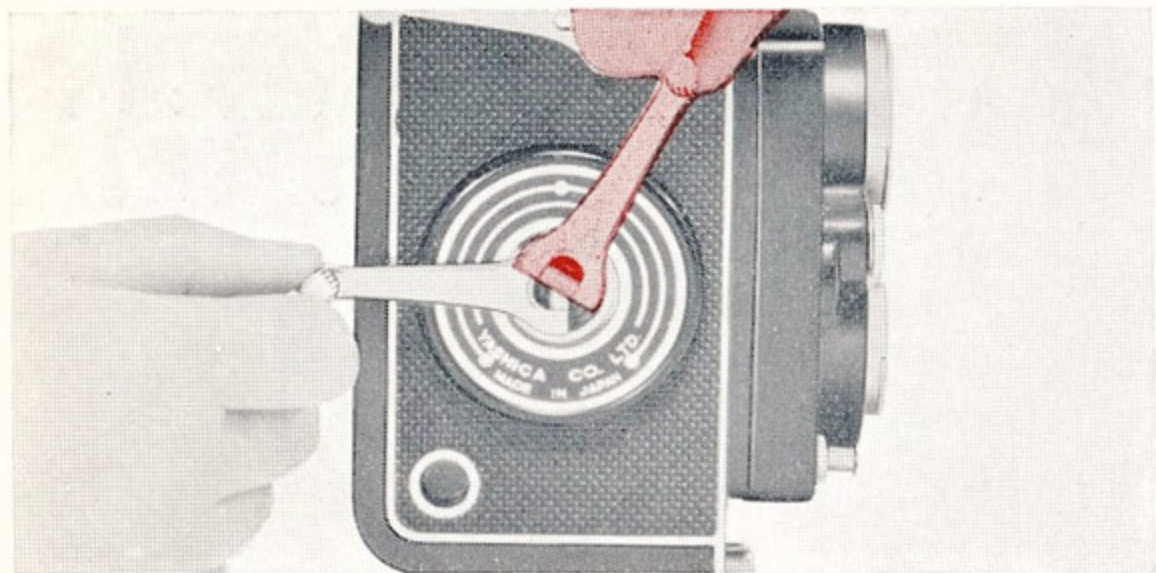
シャッター速度は右のシャッター速度調節リングを回し、絞りは左の絞り調節リングを回して合わせてください。

### ●シャッター速度目盛

B	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{15}$	$\frac{1}{30}$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{125}$	$\frac{1}{250}$	$\frac{1}{500}$
---	---	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------

### ●絞り目盛

3.5	4	5.6	8	11	16	22
-----	---	-----	---	----	----	----



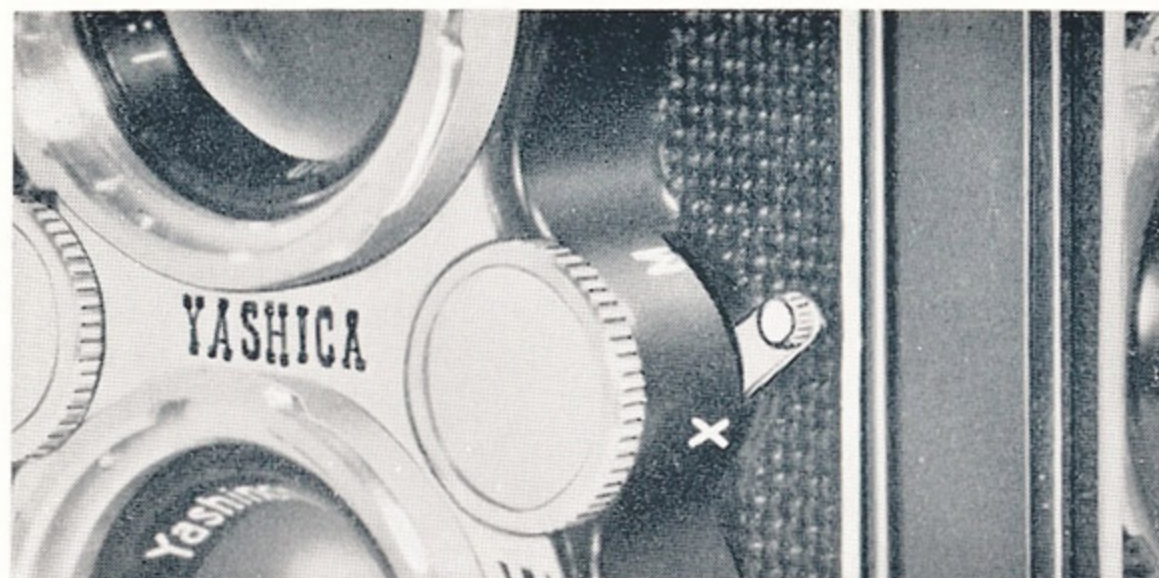
フィルムを巻上げたとき、逆方向に止るまでクラックを回してください。これを行わないとシャッターセットが行われません。



### 《B (バルブ) について》

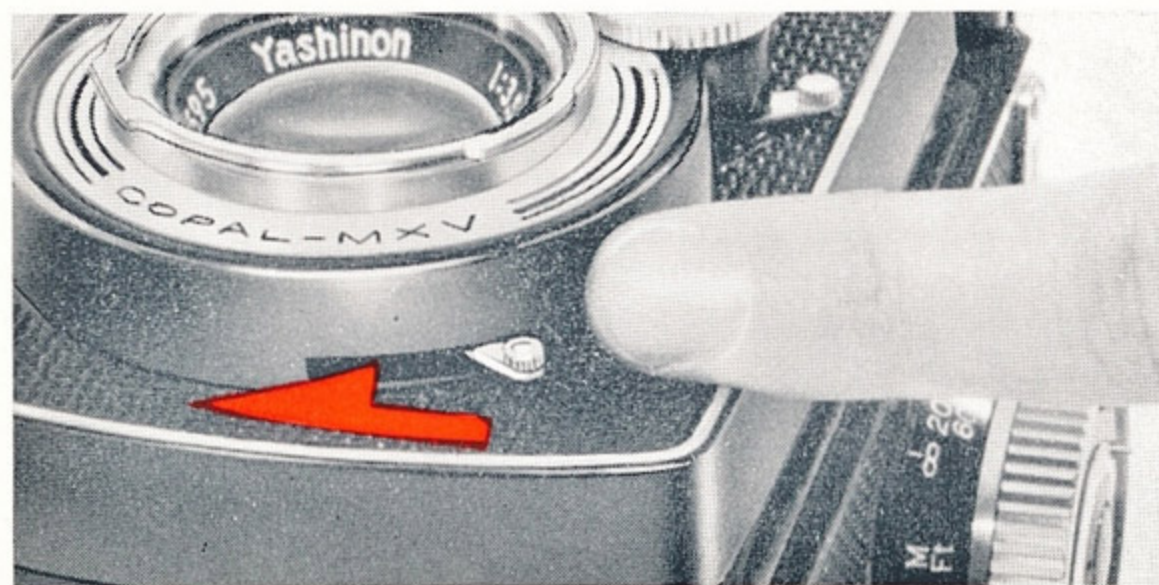
B(バルブ)とは、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いていることで、2秒以上の長時間露出に使用します。

## ☆2人だけの写真がとれる便利なセルフタイマー



セルフタイマーを使うときは、必ずシンク  
ロ接点切替えレバーをXにしてください。

このときクランクを巻きシャッターをセ  
ットしておいてください。



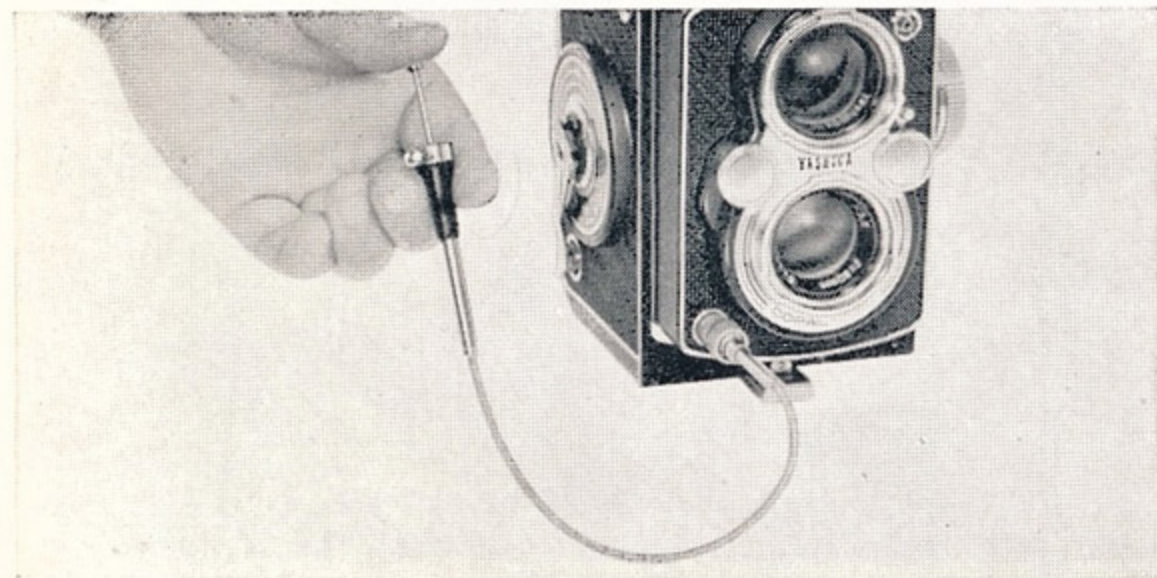
セルフタイマーレバーを矢印方向に押し  
てセットしてください。

シャッターボタンを押せば、7～8秒ぐ  
らいでシャッターが作動します。



### 《リリースを使うときは》

リリースを使用するときは、シャッターの根もとの化粧リングを回してはずしてください。



カブセ型のリリース先端を、シャッター根もとにはめこみ、リリースを静かに押すとシャッターが切れます。

☆深いピントを利用したスナップやボケの味を見たいとき使います

《被写界深度とは》

被写界深度とは、絞りの変化によってまた、写すものの距離によって変わってくるものです。

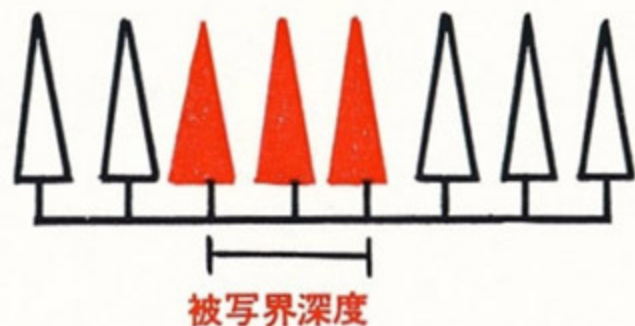
このため、近距離にいる人物と遠くの背景を一樣にはっきりと写したいとき、また背景のボケを利用したいときなどに使われます。

同じレンズでは

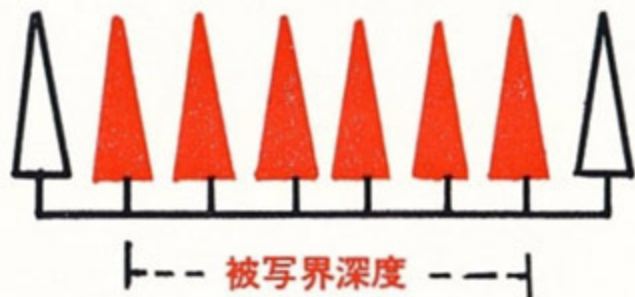
- ◎絞りを絞るほど被写界深度は深くなります。
- ◎近距離より遠距離にピントを合わせたときの方が深くなります。
- ◎焦点を合わせた被写体の前より後の方が深くなります。



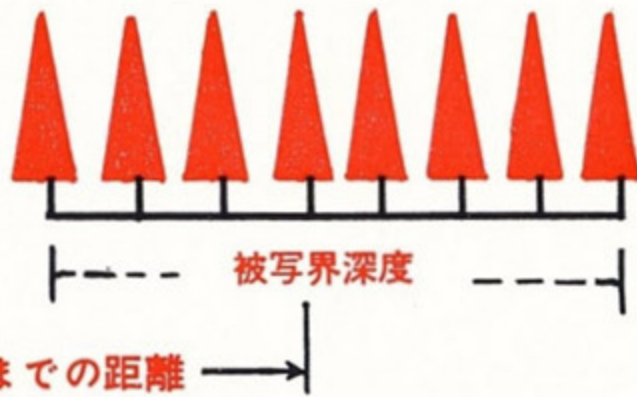
F3.5

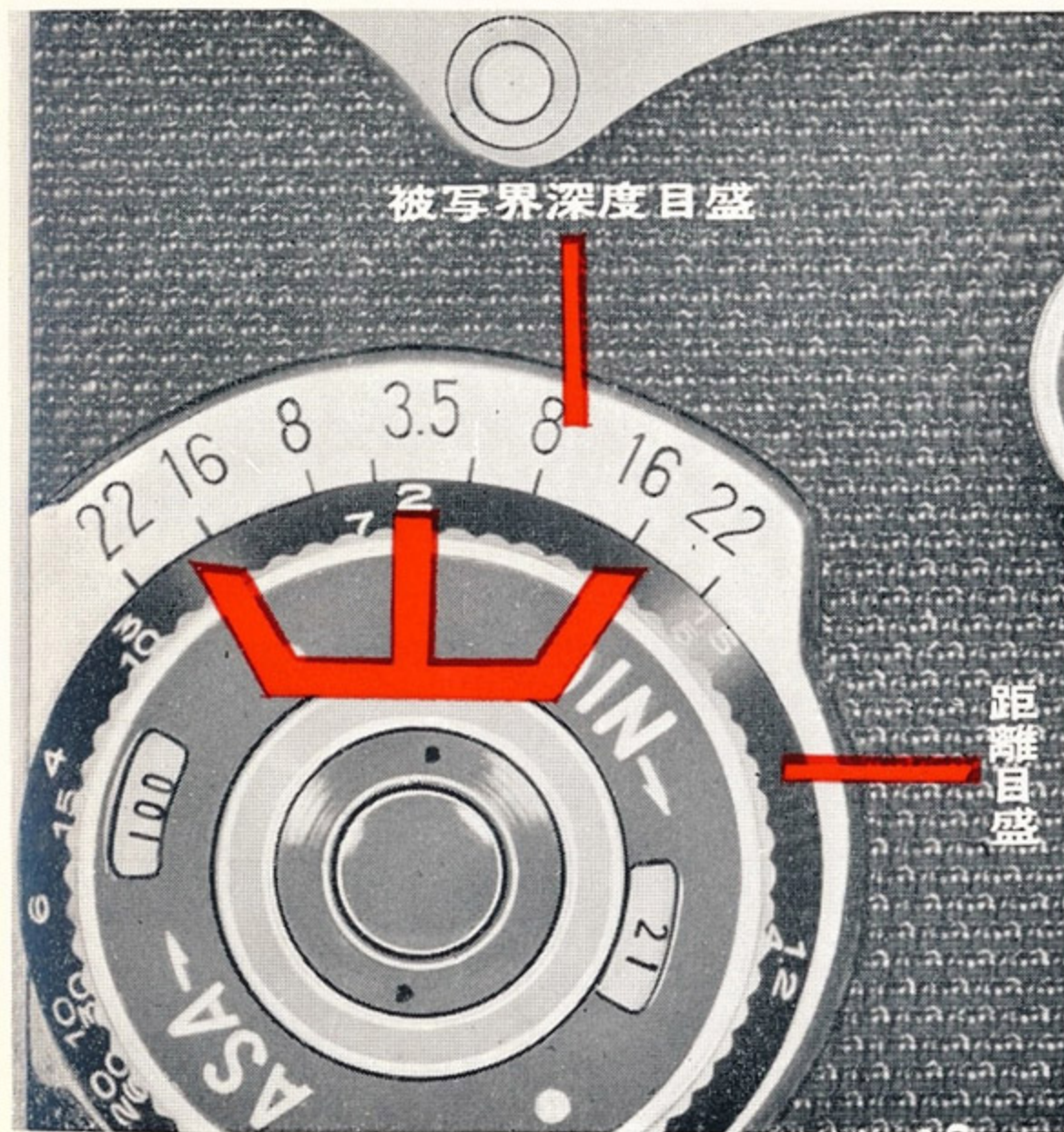


F5.6



F16



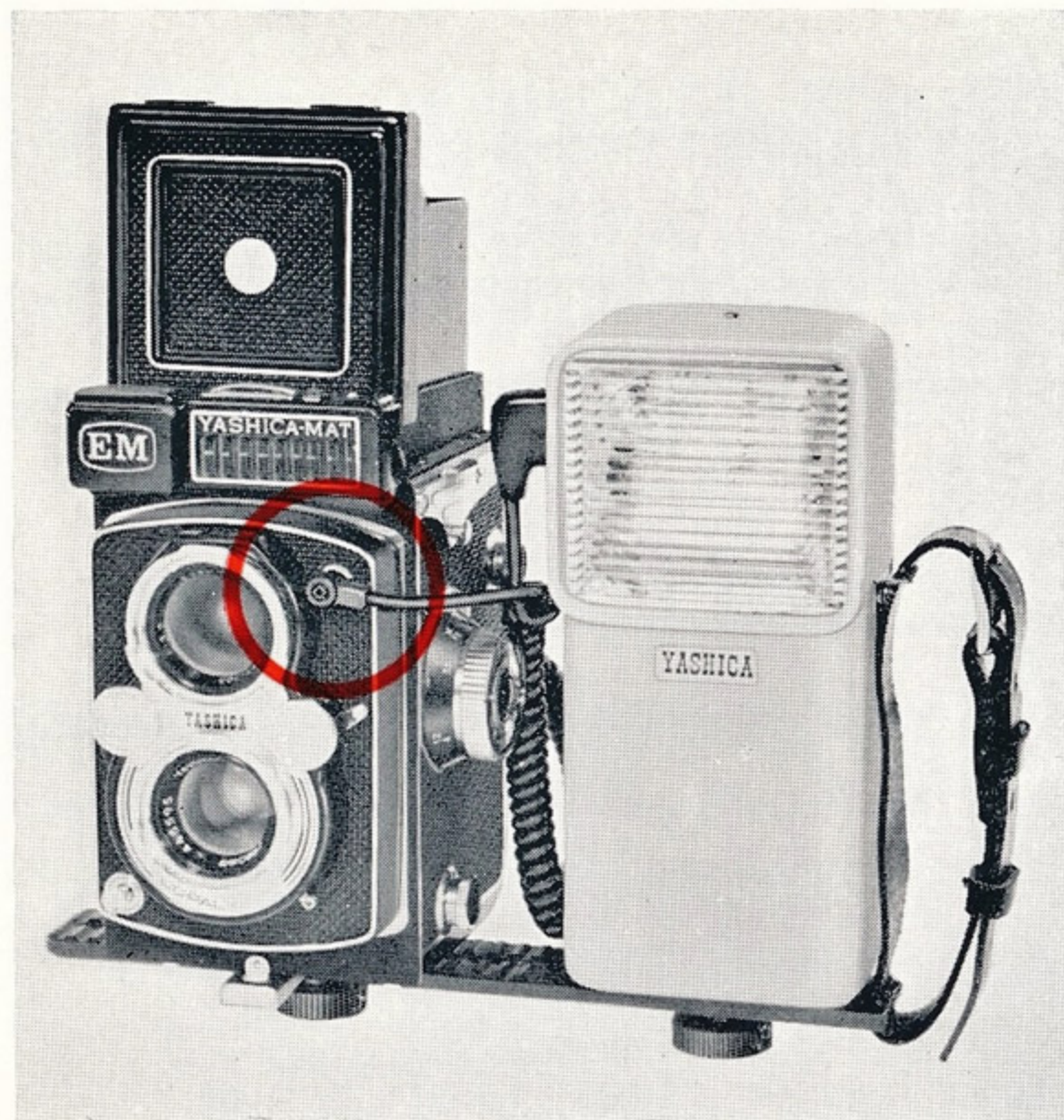


●被写界深度について

焦点調節ノブのところに、被写界深度目盛がついています。この深度目盛によって被写体の距離に対応するピントの合う範囲がひと目でわかります。

被写界深度の読み方は、2メートルの距離に被写体があり、絞りがF 16なら両側のF 16の数字に対応する距離、約1.7メートルから約2.6メートルまでピントが合うことが示されます。

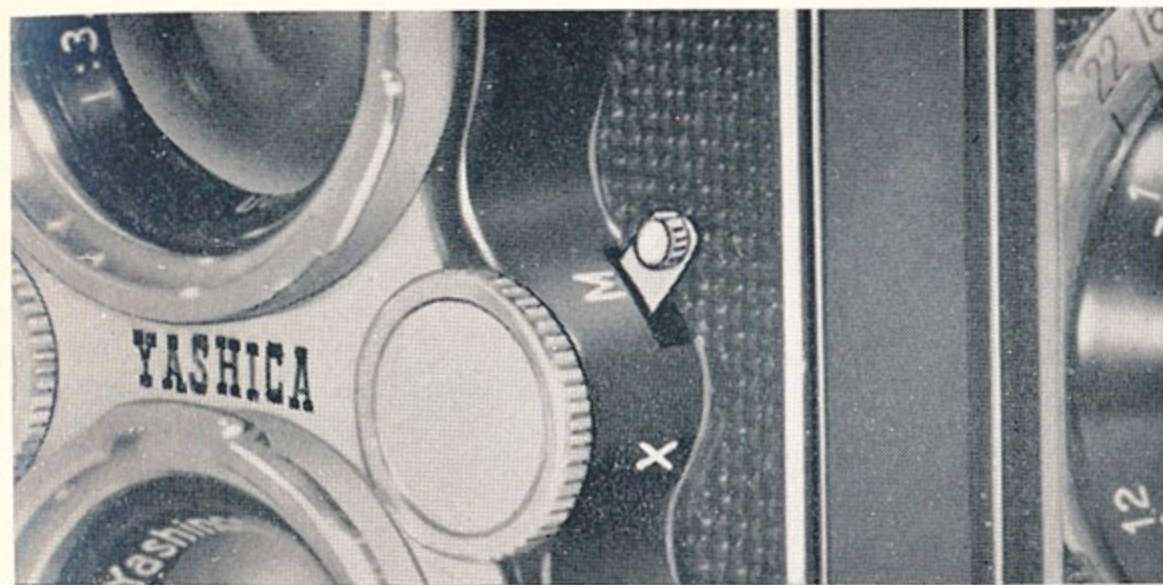
## ☆夜はシンクロ撮影で美しい写真をとりましょう



ストロボか、フラッシュガンを使用するときは、カメラ底部の三脚用止めネジにとりつけてください。

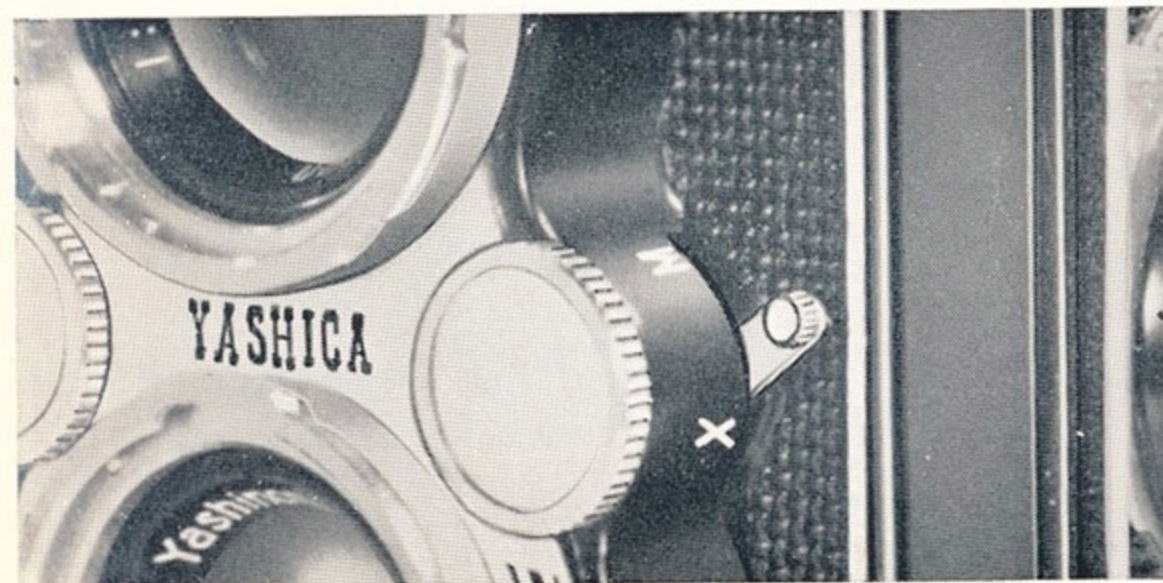
シンクロターミナルに、フラッシュガンかストロボのコードのプラグを差し込みます。

シンクロ撮影の露出は、閃光電球の箱(説明書)に示されているガイドナンバーにしたがって決めてください。



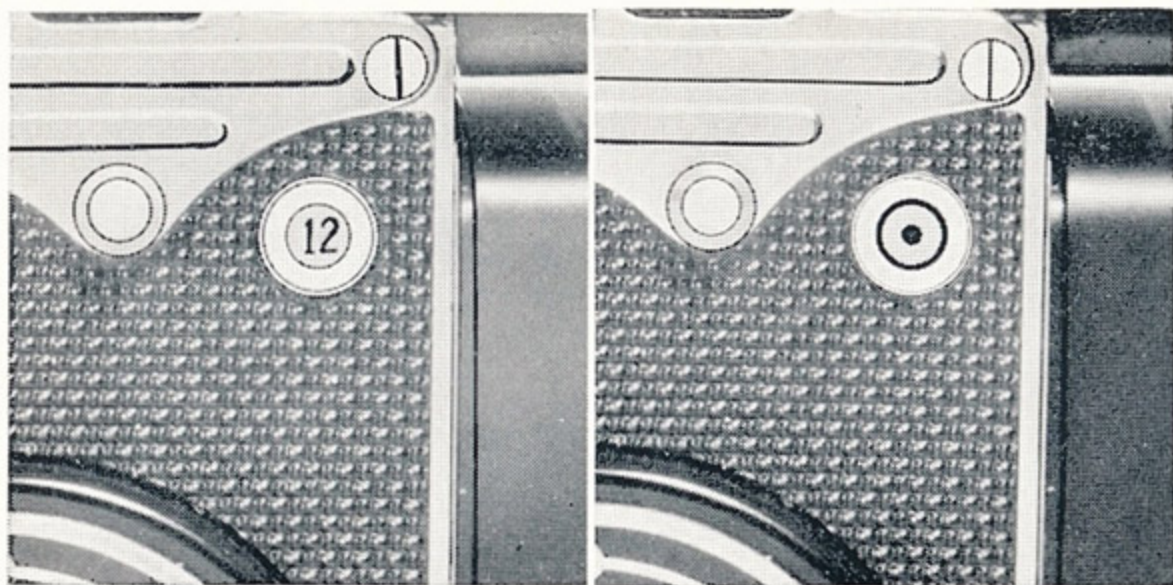
M級閃光電球を使うときは、切替えレバーを必ずMに合わせてください。

使用するフラッシュバルブ	接点	シャッター速度の同調範囲
M 級	M	全シャッター速度
F 級	X	$\frac{1}{60}$ 秒以下の低速シャッター
ストロボ	X	全シャッター速度

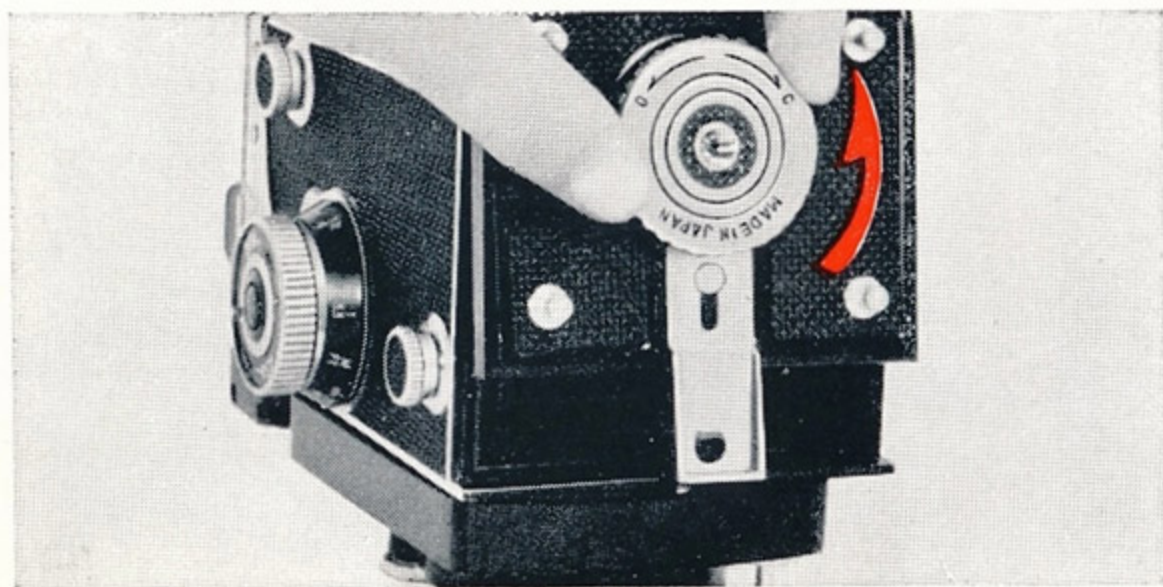


F級閃光電球かストロボを使うときは、切替えレバーを必ずXに合わせてください。

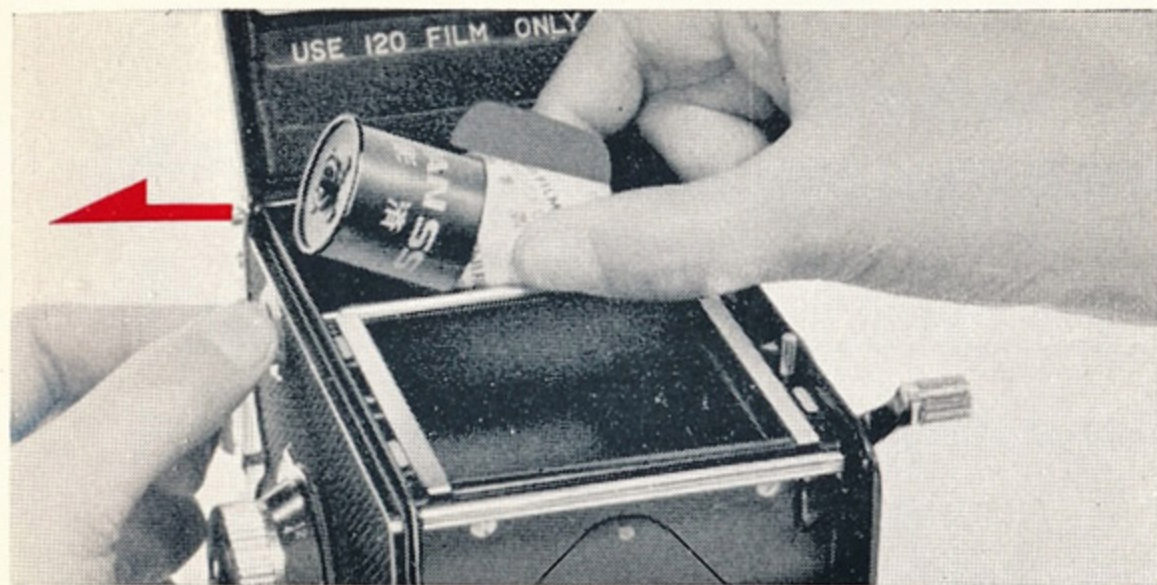




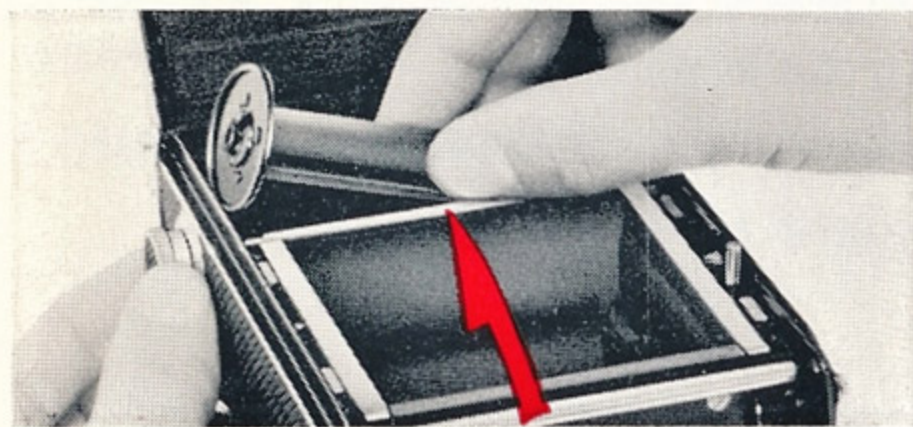
表示窓に12がでたら撮影が終了です。そのままクラックを回し続けて、表示窓に◎印がでてより軽くなるまでフィルムを巻取ってください。



裏蓋開閉リングを、○の矢印方向に回して裏蓋をあけます。



上部のフィルム着脱ノブを引いて、フィルムを取り出したら、シールをして、包装紙につつんでおきましょう。



つぎの撮影の準備のために、下部に残った空スプールを上部に入れておけば便利です。

## ☆カメラは大切にしましょう

---

◎いつも美しいカメラをお持ちになれるよう金属の部分はシリコンクロスで軽くふきましょう。海岸や砂ほこりの多い撮影のあとは特に手入れをよくしましょう。

---

◎レンズは、やたらなものでふかずにレンズブラシか、柔かいガーゼのようなもので軽くふいてください。

---

◎露出計の狂う最大の原因はショックです。乱暴にあつかわれないように、また、高い湿気や高熱にさらすことのないよう注意してください。

---

◎手入れのつもりで、シャッターやカメラの内部等を分解するのはやめてください。

---

◎カメラのボディ番号は必ず記録しておきましょう。カメラを紛失されたときなどに役立ちます。

---

☆専用フィルターで色調を整えましょう。

### ヤシカフィルター



UVフィルターはレンズ保護にもなります。バヨネット30mm  
黒白用

Y<sub>2</sub>・O<sub>2</sub> 各¥ 390

UV ¥ 450

### 専用フード(ケース付)

雪景・真夏の海岸など反射光線の強いところではフードを使用してください。

バヨネット30mm


¥ 480



★修理のときは下記へお送りください。

ヤシカ諏訪工場 長野県諏訪郡下諏訪町222

お問い合わせは下記へお願いします。

 **株式会社 ヤシカ**

東京・渋谷区神宮通2~31

電話 (403)大代表 1411

製作監修 商品部 64.6-2000-1(SY)



株式会社 ヤシカ